E
情報

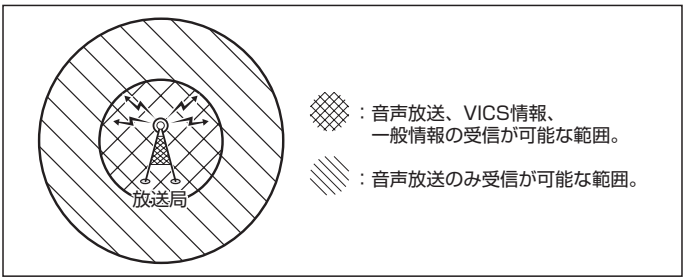
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について……E-2
交通情報(VICS情報)について……E-3
VICS情報の更新に伴う表示変更について……E-4
交通情報(VICS情報)とは……E-5
表示について……E-5
マーク一覧表……E-7
VICS放送局……E-7
一般情報について……E-8
一般情報とは……E-8
表示について……E-8
一般情報の内容(番組)について……E-8
一般情報放送局……E-8
交通情報／一般情報の操作の流れ……E-9
情報の消去について……E-9
受信する情報を選ぶ……E-10
交通情報(文字情報)／一般情報を見る……E-11
交通情報(図形情報)を見る……E-13
緊急情報を見る……E-14
緊急情報について……E-15
交通情報／一般情報を選局する……E-16
自動選局……E-16
自動選局を止める……E-17
手動選局……E-18
エリア選局……E-19
プリセット(保存)する……E-20
プリセット(保存)呼び出しをする……E-21
プリセット(保存)の上書きをする……E-22
エコドライブ情報を設定する……E-23
エコドライブ設定をする……E-25
評価履歴を見る……E-26
グラフ表示で見る……E-26
評価履歴を削除する……E-27
軌跡を使う……E-29
登録地点の編集／見る……E-31
登録地点を並び替える……E-36
自宅／登録地点の地図を呼び出す……E-38
自宅／登録地点を削除する……E-39
ETC情報を見る……E-41
QQコールを利用する……E-43
QQコールとは……E-43
QQコールを利用するまでの流れ……E-43
QQコールを表示する……E-44

交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について

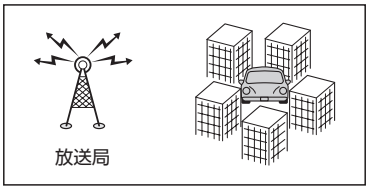
● 電波が強くなければ、これらの情報は受信できません。
従って、受信できるエリアも、音声放送に比べ、かなり狭い範囲に限られます。

解説

VICS情報、一般情報は、デジタルデータにされ、FMラジオ放送局の電波の一部を使って送られてきます。デジタルデータは、正確に受信する必要があるため、電波が強い場所でなければ、受信できません。従って、お手持ちのラジオで、FMラジオ放送局から送られてくる音声放送が聞けたとしても、その放送局から送られてくるVICS情報、一般情報は受信できない場合があります。VICS情報、一般情報が受信できるエリアの目安は、音声放送が受信できる限界の距離の約半分の距離です。



● 放送局からの距離は、受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合があります。

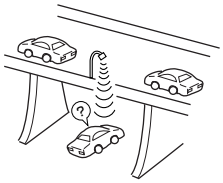


● すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではありません。
情報を放送している放送局については、☞「VICS放送局」E-7／☞「一般情報放送局」E-8をご覧ください。

交通情報(VICS情報)について(1)

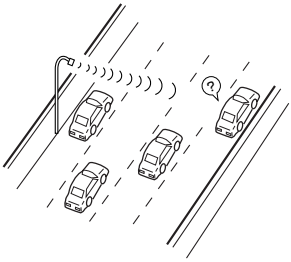
＜一般道路走行中には＞

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。



＜高速道路走行中には＞

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。



交通情報(VICS情報)について(2)

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。
本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。

アドバイス

表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。また詳しくは、☞「VICSの概要」P-24をご覧ください。

交通情報(VICS情報)とは

FM多重放送局の中には、VICSセンターから提供されるVICS情報(レベル1～レベル3)を放送している局*があります。本書および画面表示では、このVICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。
＊印…本書では交通情報を放送しているFM多重放送局を“VICS放送局”と呼んでいます。
「VICSの概要」P-24

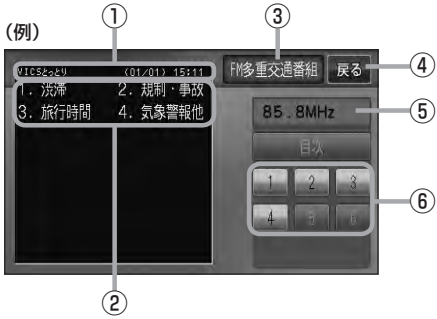
表示について

交通情報の表示には、3種類(レベル1、レベル2、レベル3)があります。
※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

レベル1(文字)表示

※表示内容は更新(変更)される場合があります。

(例)



①ヘッダー文
VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

②表示内容

③受信中の情報
表示中の情報が交通情報であることを示します。

④ 戻る ボタン
1つ前の画面に戻ります。

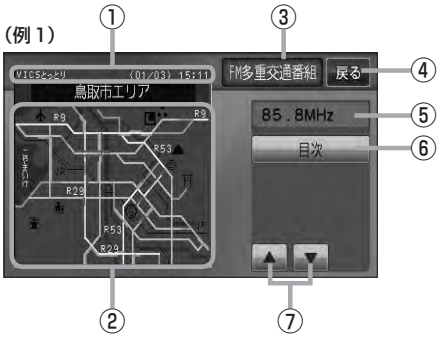
⑤受信中の周波数

⑥表示内容選択ボタン

アドバイス 各ページは、ヘッダー文(1行)と表示内容(全角：15文字×2行の30文字まで。半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。

レベル2(簡易図形)表示

(例1)



①ヘッダー文
VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

②渋滞情報
赤色：渋滞　　橙色：混雑
※渋滞方向を矢印で表示します。

③受信中の情報
表示中の情報が交通情報であることを示します。

④ 戻る ボタン
1つ前の画面に戻ります。

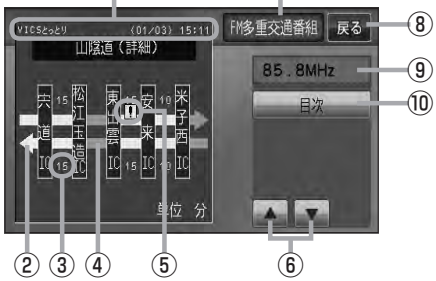
⑤受信中の周波数

⑥ 目次 ボタン
目次画面に戻ります。

⑦ ▲ ／ ▼ ボタン(ページ戻し／送り)
※2ページ以上ページがある場合に表示されます。暗い項目は、選べません。

交通情報(VICS情報)について(3)

(例2)



①ヘッダー文
VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

② 高速・有料道路がこの先も続くことを示します。
この先の情報提供がない場合は、灰色です。

③矢印方向の次の地点までの所要時間(5分単位)
この例の場合は、松江玉造ICから宍道ICまで、約15分かかることを示しています。

④渋滞情報
矢印方向の渋滞状況を示します。
赤色：渋滞　橙色：混雑

⑤VICS情報マーク
「マーク一覧表」E-7

⑥ ▲ ／ ▼ ボタン(ページ戻し／送り)
※2ページ以上ページがある場合に表示されます。

⑦受信中の情報
表示中の情報が交通情報であることを示します。

⑧ 戻る ボタン
1つ前の画面に戻ります。

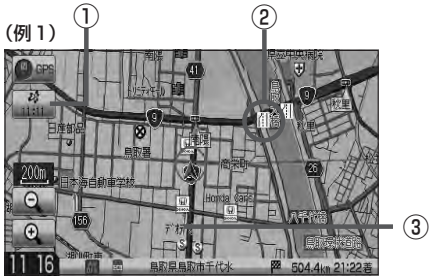
⑨受信中の周波数

⑩ 目次 ボタン
目次画面に戻ります。

アドバイス 渋滞情報は、渋滞や混雑がない場合、または情報が不明な場合は表示されません。

レベル3(地図)表示

(例1)



(例2)

① VICSタイムスタンプ ボタン
- 交通情報の提供時刻を表示します。
  ※表示可能なレベル3情報がない時は“－－：－－”を表示します。
  ※一般情報を受信する設定になっている場合は、表示されません。
- ルート案内中にタッチすると、渋滞／規制を確認することができます。
  「渋滞地点を確認する」D-27

②VICS情報マーク
「マーク一覧表」E-7

③渋滞情報
赤色：渋滞　橙色：混雑　緑色：渋滞なし　黄色：規制
※渋滞の方向を矢印で表示します。
：交通情報

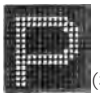
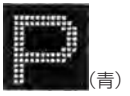
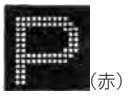
④マーク詳細情報
VICS情報マークにカーソル(－┼－)をあわせると、マーク詳細情報が表示されます。

アドバイス
- 縮尺によってはレベル3表示できません。
- レベル3表示の情報提供時刻は、レベル1やレベル2表示の情報提供時刻と一致しない場合があります。
- 情報提供時刻が表示されている時(“－－：－－”表示ではない時)に、レベル3が表示できます。
- 受信状況によっては、3種類(レベル1～レベル3)の情報を全て表示することはできない場合があります。

マーク一覧表

交通情報によっては、下記のマークが表示されます。

※下記マークは一例です。

事　故	凍　結	チェーン規制	駐車場(混雑)  (橙)	車線規制	入り口制限	速度規制40km/h	速度規制80km/h
故障車	作　業	進入禁止	駐車場(不明) (黒)	徐　行	速度規制10km/h	速度規制50km/h	
路上障害	通行止め／閉鎖	駐車場(空)  (青)	駐車場(閉)	入り口閉鎖	速度規制20km/h	速度規制60km/h	
工　事	片側交互通行	駐車場(満)  (赤)	対面通行	大型通行止め	速度規制30km/h	速度規制70km/h	

VICS放送局

● 平成23年4月1日現在、開局されている放送局は次のとおりです。

VICS旭川(85.8MHz)、VICS札幌(85.2MHz)、VICS函館(87.0MHz)、VICS北見(86.0MHz)、VICS仙台(82.5MHz)、VICS福島(85.3MHz)、VICS前橋(81.6MHz)、VICSさいたま(85.1MHz)、VICS宇都宮(80.3MHz)、VICS水戸(83.2MHz)、VICS東京(82.5MHz)、VICS千葉(80.7MHz)、VICS横浜(81.9MHz)、VICS長野(84.0MHz)、VICS新潟(82.3MHz)、VICS甲府(85.6MHz)、VICS静岡(88.8MHz)、VICS金沢(82.2MHz)、VICS名古屋(82.5MHz)、VICS岐阜(83.6MHz)、VICS津(81.8MHz)、VICS大 津(84.0MHz)、VICS奈 良(87.4MHz)、VICS京 都(82.8MHz)、VICS大阪(88.1MHz)、VICS和歌山(84.7MHz)、VICS神戸(86.5MHz)、VICS岡山(88.7MHz)、VICS広島(88.3MHz)、VICS山口(85.3MHz)、VICS高松(86.0MHz)、VICS松山(87.7MHz)、VICS徳島(83.4MHz)、VICS福岡(84.8MHz)、VICS大分(88.9MHz)、VICS熊本(85.4MHz)、VICS宮崎(86.2MHz)、VICS高知(87.5MHz)、VICS佐賀(81.6MHz)、VICS長崎(84.5MHz)、VICS鹿児島(85.6MHz)、VICS沖縄(88.1MHz)、VICS福井(83.4MHz)、VICS富山(81.5MHz)、VICS山形(82.1MHz)、VICS秋田(86.7MHz)、VICS青森(86.0MHz)、VICS松江(84.5MHz)、VICS鳥取(85.8MHz)、VICS盛岡(83.1MHz)、VICS釧路(88.5MHz)

※交通情報は、NHK－FM放送局の電波の一部を使用して放送されています。
　上記の周波数は親局のものです。これら親局の中継局でも、交通情報を受信できます。

アドバイス

- VICSのサービスエリア外の地域やトンネルの中など電波の届きにくい場所、電波状況の悪い場合などは、交通情報の受信が困難になったり、情報がそろうのに時間がかかることがあります。
- VICS放送局の情報提供時間は、24時間です。ただし、メンテナンス作業のために午前1時～午前5時までは放送を休止する場合がありますので、この間は、交通情報は受信できません。

一般情報について

一般情報とは

FM多重放送局の中には、各放送局が製作した文字情報(レベル1)を放送している局*があります。
本書および画面表示では、この文字情報を“一般情報”と呼んでいます。
＊印…本書では一般情報を放送しているFM多重放送局を“一般情報放送局”と呼んでいます。

表示について

(目次画面の例)

①ヘッダー文
放送局名、番組名、ページなどを表示します。

②表示内容

③受信中の情報
表示中の情報が一般情報であることを示します。

④ 戻る ボタン
1つ前の画面に戻ります。

⑤受信中の周波数

⑥表示内容選択ボタン

⑦ ▼ ／ ▲ ボタン
画面送り／戻しをします。

アドバイス
各ページは、ヘッダー文(1行)と表示内容(全角：15文字×2行の30文字まで。半角：31文字×2行の62文字まで)で構成されています。ページ数は番組によって異なり、番組によっては自動的にページ送りするものもあります。

一般情報の内容(番組)について

1つの放送局から、同時に複数の番組が放送されています。番組の数や内容は、放送局によって異なります。番組は目次画面で選ぶことができます。(☞「表示について」上記)
番組は大きく次の2つに分けられます。

- **連動情報番組(番組情報チャンネル)**
  FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名、アーティスト名、リクエストの受付電話番号など、音声放送に関連した内容です。音声放送に合わせて、放送局が内容を変えていきます。
- **独立情報番組(天気予報、ニュース&スポーツ、交通情報、エンターテイメントチャンネルなど)**
  FM音声放送とは関連のない、独立した番組です。ページ送りは、放送局が行なう場合もあります。
  ※番組の名称、数、内容等は、放送局によって異なります。また、番組の更新情報を受信すると、自動的に本機内に保存している一般情報が更新されます。

一般情報放送局

一般情報放送局(民放FM放送局)にはJFN系列／JFL系列／独立局などがあります。
一般番組情報を受信する設定にしている場合は、現在地周辺の最新エリアの放送局を受信します。

アドバイス
- 各放送局の放送休止時間帯は一般情報を受信することはできません。
- 電波の状況によっては、FM音声放送は受信できても、一般情報は受信できない場合があります。
- 一般情報は、親局の中継局でも受信できます。

交通情報／一般情報の操作の流れ

本機では、FM多重放送を使って提供される交通情報(VICS)と一般情報(各放送局が独自に製作して放送している文字情報)を表示することができます。

1 受信する情報を選択する。

■ 交通情報を表示する場合

① 交通情報番組(VICS)を受信します をタッチする。

■ 一般情報を表示する場合

① 一般情報番組を受信します をタッチする。

「受信する情報を選ぶ」E-10

2 手順 1 で選んだ情報を放送している放送局を受信する。

「交通情報／一般情報を選局する」E-16

アドバイス よく使う放送局は、プリセット(保存)しておくと便利です。
「プリセット(保存)する」E-20

3 見たい情報を表示させる。

■ 交通情報を表示する場合

「交通情報(文字情報)／一般情報を見る」E-11
「交通情報(図形情報)を見る」E-13
「緊急情報を見る」E-14
「VICS表示の設定をする」F-34

■ 一般情報を表示する場合

「交通情報(文字情報)／一般情報を見る」E-11
「緊急情報を見る」E-14

情報の消去について

次の場合は、本機で受信した情報が消去されます。

- 車のエンジンスイッチを0(ロック)にしたり、受信周波数が変わったり、変えたりした場合に受信した情報が消去されることがあります。
- 渋滞情報保存時間を経過した。(交通情報の場合)
- 受信する情報(交通情報／一般情報)を切り替えた場合、切り替える前の情報は消去されます。(たとえば、交通情報を受信していて、一般情報に切り替え、再度、交通情報に切り替えた場合、前回受信していた交通情報は消去されています。ただし、レベル3情報については切り替える直前のデータが保持されるため、一定時間の表示は可能です。)

受信する情報を選ぶ

受信する情報を設定します。

1 MENU を押す。

2 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

3 受信番組設定 をタッチする。

：受信番組設定画面が表示されます。

4 受信する情報(交通情報番組(VICS)を受信します ／ 一般情報番組を受信します)をタッチする。

5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 交通情報番組を受信する設定にしているときは、 VICSタイムスタンプ に、交通情報提供時刻を表示します。一般情報番組を受信する設定にしているときは、 VICSタイムスタンプ が、一般情報スタンプ(“FM一般”)の表示に変わります。
- 交通情報番組を受信する設定にしているときは、一般情報を放送している放送局を受信しても、一般情報は受信しません。同様に一般情報番組を受信する設定にしているときは、VICS放送局(交通情報を放送している放送局)を放送している放送局を受信しても、交通情報は受信しません。
- 交通情報番組を受信する、一般情報番組を受信する設定にしただけでは、各情報を表示することはできません。「交通情報／一般情報の操作の流れ」E-9

交通情報(文字情報)／一般情報を見る(1)

1 E-10手順 1 ～ 4 に従って操作し、受信する情報を設定する。

2 MENU を押す。

3 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

4 文字情報 をタッチする。

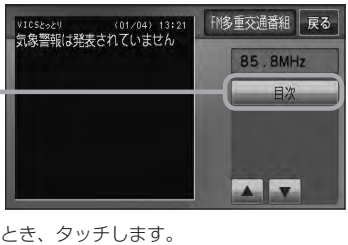
：FM多重の目次画面が表示されます。

5 見たい情報の番号をタッチする。

選択画面が続く場合は、 ▼ をタッチしてください。

(例)交通情報(文字情報)の目次画面
("4. 気象警報他"を見る場合)

2ページ以上ある場合は、画面を送って、
見たい情報のある画面を表示してください。
※ページ数が表示されない番組もあります。



目次に戻るとき、タッチします。
※一般情報の場合、目次データが受信できていない場合は"情報の受信中です。"と表示します。目次データが受信できると、目次画面を表示します。

※情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書きかえます。

交通情報(文字情報)／一般情報を見る(2)

6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 一般情報の場合、手順 1 ～ 3 (☞ E-9)の操作をした後、目次画面ではなく、連動情報番組(☞ E-8)が表示されることがあります。目次データは受信できないが、連動情報番組データを受信できた場合に表示されます。他の番組を見たい場合は、しばらく待って、 目次 をタッチしてみてください。
- 表示内容は更新(変更)される場合があります。

交通情報(図形情報)を見る

1 **“交通情報番組(VICS)を受信する” 設定にする。**

☞「受信する情報を選ぶ」E-10
☞「交通情報／一般情報を選局する」E-16

2 **MENU を押す。**

3 **情報 ➡ FM多重 をタッチする。**

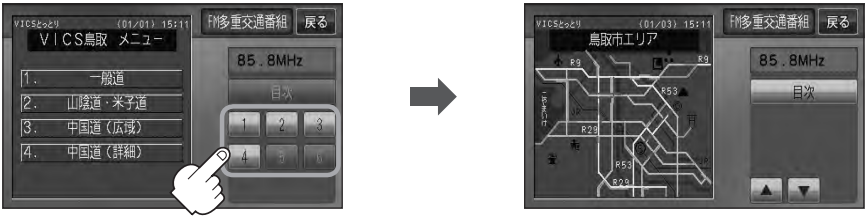
4 **図形情報 をタッチする。**

：FM多重の目次画面が表示されます。

5 **見たい情報の番号をタッチする。**

選択画面が続く場合は、▼ をタッチしてください。

(例)図形情報の目次画面



※情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書きかえます。

6 **現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。**

アドバイス FM多重の 図形情報 は、 受信番組設定画面 ➡ 一般情報番組を受信します に設定している場合は暗くなります。

緊急情報を見る

交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。
また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。

1 E-10手順 **1** ～ **4** に従って操作し、受信する情報を設定する。

2 MENU を押す。

3 **情報** ➡ **FM多重** をタッチする。

4 **緊急情報** をタッチする。

※情報を受信していないときは、
ボタンは暗くなります。

※情報表示中に新しい情報を受信すると、
自動的に情報を書きかえます。

5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

緊急情報について

受信中の放送局の緊急情報番組を受信すると、音声で受信したことを知らせます。

- 現在地表示時に受信した場合は、自動的に情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
  ※約15秒後には、緊急情報画面は消え、自動的に現在地表示に戻りますが、緊急情報表示画面で、戻る をタッチして、現在地表示に戻すこともできます。
- 交通情報(文字情報／図形情報)表示中、または一般情報表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。この場合、緊急情報表示画面で、 戻る をタッチすると、MENUに戻ります。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには、☞ E-14に従って、FM多重の 緊急情報 をタッチしてください。

アドバイス

- 緊急情報は、見終わった後も消えません。☞ E-14に従って、 緊急情報 をタッチすると、表示されます。
  ※情報を消去する行為をした場合は、緊急情報も消えます。
  ☞「(情報の消去について)」E-9
- 交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。
- 緊急情報表示を止める場合は、 現在地 を押してください。

交通情報／一般情報を選局する(1)

交通情報を見るには、VICS放送局(☞E-7)を受信してください。
また、一般情報を見るには、一般情報放送局(☞E-8)を受信してください。選局には、
自動選局、手動選局、エリア選局の3つの方法があります。

アドバイス
受信した放送局をプリセット(保存)しておくと、後で呼び出すことができます。
☞「プリセット(保存)する」E-20

自動選局

自動選局に設定すると、受信中の電波が弱くなった場合、自動的に電波の強い周波数に切り替わります。

1 MENUを押す。

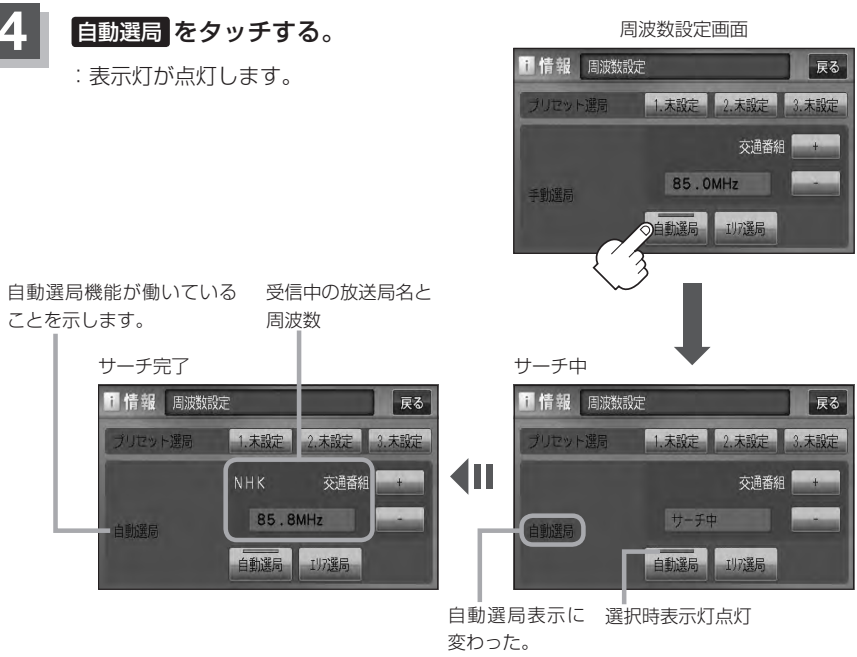
2 情報➡FM多重をタッチする。

3 周波数設定をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

4 自動選局 をタッチする。

：表示灯が点灯します。



5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

放送局が受信できるまでは、周波数設定画面は“サーチ中”を表示したままとなります。電波状況が悪く、自動選局で放送局が受信できない場合は、手動選局(E-18)またはエリア選局(E-19)をしてみてください。

自動選局を止める

周波数設定画面が“自動選局”表示になっているときは、自動選局機能が働いて、受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数(放送局)に切り替わります。自動選局を止める(周波数が自動的に切り替わるのを止める)場合は、 自動選局 をタッチして表示灯を消灯し、表示を“手動選局”に替えてください。

交通情報／一般情報を選局する(2)

手動選局

手動で周波数を合わせることができます。

1 MENU を押す。

2 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

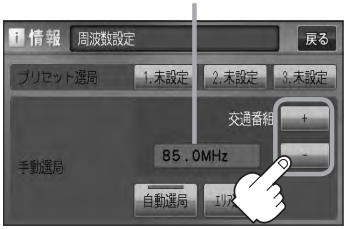
3 周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

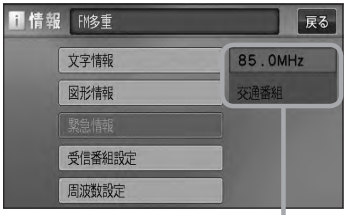
4 ＋／－ をタッチし、
受信したい周波数を表示させる。

※ ＋ をタッチすると、0.1MHzアップ、長めにタッチすると始めは0.1MHzアップし、その後1MHzずつアップする。
－ をタッチすると、0.1MHzダウン、長めにタッチすると始めは0.1MHzダウンし、その後1MHzずつダウンする。

ここに受信したい周波数を表示させる。



5 戻る をタッチする。



手順 4 で表示させた周波数に変わります。

6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

エリア選局

現在地周辺のFM放送局リストが表示され、選択した放送局を受信します。

アドバイス 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。「手動選局」E-18

1 MENU を押す。

2 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

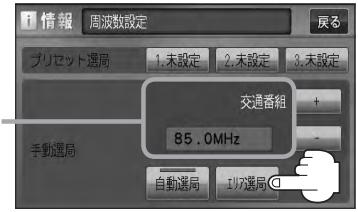
3 周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

4 エリア選局 をタッチする。

周波数設定画面

受信中の周波数



5 受信する放送局を選択し、タッチする。

現在地周辺のFM放送局リスト

これを受信する場合

リストで選んだ放送局を受信します。

6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

プリセット(保存)する

放送局を3局までプリセット(保存)できます。

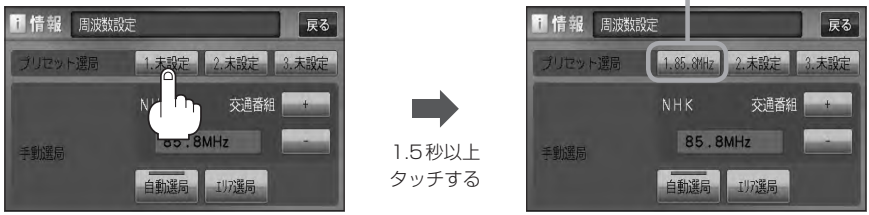
1 プリセットしたい放送局を受信する。
(画面は、周波数設定画面のままにしておきます。)

☞「交通情報／一般情報を選局する」E-16

アドバイス 自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始めてしまい、周波数が変わってしまいます。
☞「(自動選局を止める)」E-17

2 保存する場所(1.未設定 ／ 2.未設定 ／ 3.未設定)を選択し、1.5秒以上タッチする。

例 1.未設定 に保存する場合



3 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス 上記手順 2 で、すでに他の放送局が保存されている場所を選ぶと、保存されている放送局を消去して、新しい放送局を保存します。☞「プリセット(保存)の上書きをする」E-22

プリセット(保存)呼び出しをする

プリセット(保存)した放送局を呼び出すことができます。

1 MENU を押す。

2 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

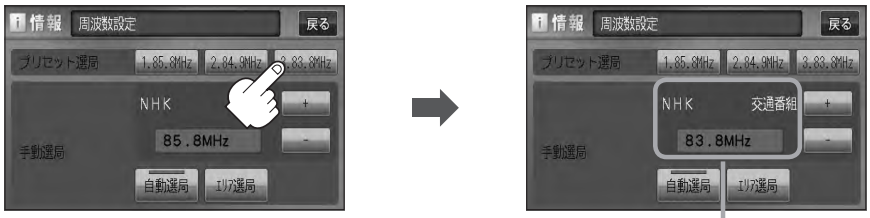
：FM多重画面が表示されます。

3 周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

4 呼び出す周波数を選択して、タッチする。

例 83.8MHz を呼び出す場合



85.8MHzが83.8MHzにかわった

※プリセットを呼び出したときは、手動選局表示になります。

5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

プリセット(保存)の上書きをする

プリセットした放送局に新しい放送局を上書きすることができます。

1 MENU を押す。

2 情報 ➡ FM多重 をタッチする。

3 周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

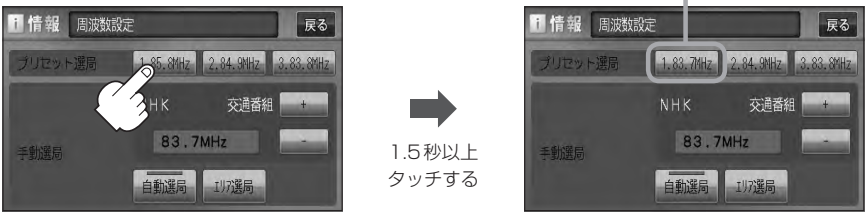
4 新しい放送局を呼び出す。

☞「交通情報／一般情報を選局する」E-16

5 上書きしたい場所を選択し、1.5秒以上タッチする。

例 1. 85.8MHz に上書きする場合

85.8MHzが83.7MHzにかわった



6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

エコドライブ情報を設定する(1)

走行中の「加速」や「減速」「アイドリング時間」などをGPS衛星の信号をもとに計算し、ドライビングスタイルが環境にやさしく無駄の少ない運転(エコドライブ)ができているか評価して、その情報を確認することができます。

1 MENUを押す。

2 情報 ➡ エコドライブ をタッチする。

：エコドライブ情報画面が表示されます。

※1日の評価時間内の結果をグラフで表示します。

評価レベル……初級で評価した場合、マークを表示

急加速……急に加速した回数

急減速……急に減速した回数

エコ速度……規定速度以上で走行した時間(法定速度とは異なりますのでご注意ください。)

アイドリング…車両停車時間(一定時間以上の停車をアイドリングとします。)

総合評価……総合評価をA～Eの5段階で判定

※この評価は本機独自の評価です。グラフの数が5つのときはA、4つのときはB、3つのときはC、2つのときはD、1つのときはE評価です。グラフの数が多いほど環境にやさしく、無駄の少ない運転ができていることを意味します。

(例)エコドライブ情報画面

メッセージがスクロールされます。

総合評価をバーで表示

エコドライブ情報画面では

評価履歴を見たり、削除することができます。E-26

エコドライブの結果を、グラフにて確認することができます。E-26

エコドライブ情報を設定する(2)

3 エコドライブ評価を中止／開始する。

■ エコドライブ評価を開始する場合

エコドライブ評価開始 をタッチする。

：エコドライブ評価を開始します。

※現在地画面を表示させると情報バー左下の ECO マークを表示します。

(例)エコドライブ情報画面

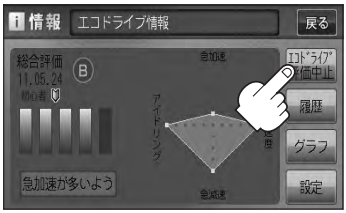
■ エコドライブ評価を止める場合

エコドライブ評価中止 をタッチする。

：エコドライブ評価を中止します。

※現在地画面を表示させると情報バー左下の ECO マークが消えます。

(例)エコドライブ情報画面



4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

エコドライブ設定をする

1 E-23手順 **1** 、 **2** に従って操作し、**設定** をタッチする。

：エコドライブ設定画面が表示されます。

（例）エコドライブ情報画面

2 評価履歴を **残す** ／ **残さない** 、エコドライブ表示を **する** ／ **しない** 、評価レベル **初級** ／ **上級** を選択し、タッチする

※評価レベルを変更する場合、評価レベルの変更をしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので、**はい** ／ **いいえ** を選択しタッチしてください。

3 ▲ ／ ▼ をタッチして、急加減速／エコ速度超過／アイドリングのお知らせを **する** ／ **しない** を選択しタッチする。

※エコ速度超過のお知らせの **する** をタッチした場合、メッセージが表示されるので、メッセージの内容を確認し **OK** をタッチしてください。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 手順 **2** でエコドライブ表示を **する** に設定した場合、現在地の地図画面に戻ったとき右画面にエコドライブ情報を表示します。エコドライブ情報の表示を止めたい場合は、エコドライブ表示の **しない** をタッチしてください。
- 手順 **2** で評価レベルの **初級** を選択すると、2画面表示またはエコドライブ情報を表示させたとき マークが表示されます。☞ E-28、アドバイス内
- ルート情報表示中はエコドライブ表示を **する** に設定しても右画面にエコドライブ情報は表示されません。☞「■ **ルート情報の表示を設定する場合** 」F-14
- MENU を押し、 **右画面** ➡ **エコドライブ** とタッチしても、右画面にエコドライブ情報を表示します。

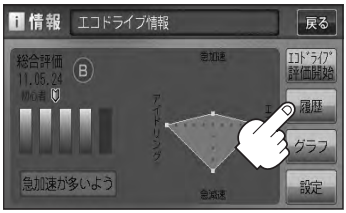
エコドライブ情報を設定する(3)

評価履歴を見る

1 E-23の手順 1 、 2 に従って操作し、履歴 をタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。
今までの評価履歴が最大50件まで日付の新しい順に表示されます。

(例)エコドライブ情報画面



2 リストから見たい日時の履歴を選んでタッチする。

：エコドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

(例)エコドライブ評価履歴画面

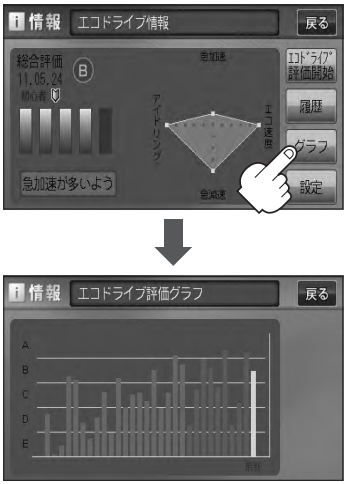
3 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

グラフ表示で見る

1 E-23の手順 1 、 2 に従って操作し、グラフ をタッチする。

：グラフ画面が表示されます。
評価グラフは最大30件まで表示されます。

(例)エコドライブ情報画面



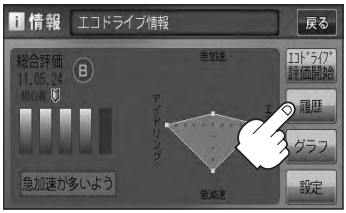
2 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

評価履歴を削除する

1 E-23の手順 1 、 2 に従って操作し、履歴 をタッチする。

：エコドライブ評価履歴画面が表示されます。

（例）エコドライブ情報画面



2 削除したい履歴を選び、タッチする。

：エコドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

■ 全履歴を削除する場合

① 全削除 をタッチする。

：全ての評価履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい をタッチします。

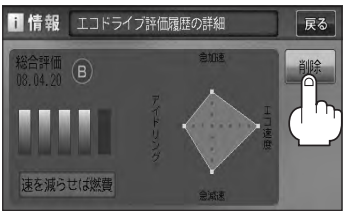
（例）エコドライブ評価履歴画面

全削除 ボタン

3 削除 をタッチする。

：選択した評価履歴を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい をタッチすると履歴を削除し、評価履歴画面に戻ります。

（例）エコドライブ評価履歴の詳細画面



4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

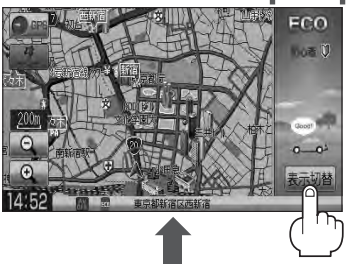
エコドライブ情報を設定する(4)

アドバイス

- E-24の手順 **3** でエコドライブ評価を開始した場合、走行中に各評価レベルの設定値を超えたときにチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。
  ※エコドライブ情報を表示しているときに、チャイムを鳴らしてメッセージを表示します。

- 右画面にエコドライブ情報を表示する設定にすると右画面にアニメーション、走行速度･加速度インジケーターまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。表示されたエコドライブ情報は、**表示切替** をタッチして、表示の切り替えをすることができます。ルート案内中などで交差点拡大などを表示する設定にしている場合は、交差点拡大などを優先して表示します。
  「右画面に地図／情報を表示する」B-28

エコドライブ情報
（例)アニメーションを表示



エコドライブ情報
（例)走行速度・加速度インジケーターを表示

エコドライブ情報
（例)走行速度・加速度履歴グラフを表示

- **エコドライブ情報は、実際の走行状態を表すものではありません。**
- アニメーション、走行速度・加速度インジケーターの場合、現在の走行状態によって車の色が変わります。（水色＝優良、ピンク色＝注意、茶色＝要注意）
- GPSが受信されていない場合は正しい評価をすることができません。
- 評価は1日単位で保存します。
- エコドライブ情報での評価内容は、あくまでも目安です。

軌跡を使う(1)

通った道にしるしをつけ、記録(メモリ)することができます。
通った道をあとで確認したり、同じ道を通りたいときなどに便利です。

1 MENU を押す。

2 情報 ➡ 走行軌跡 をタッチする。

：走行軌跡の設定画面が表示されます。

3 軌跡の記録開始／停止／表示／非表示／確認／削除をする。

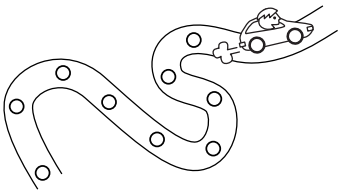
■ 軌跡の記録をする場合

① スタート をタッチする。

：軌跡の記録を開始します。現在地(自車)マークが移動すると、軌跡があらわれます。また、それら軌跡の登録も開始します。

アドバイス

- 軌跡は、約500kmまで記録できます。容量をこえると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 軌跡の色は青です。
- 軌跡の記録を止め、再び軌跡の記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- デモ走行中は軌跡の記録を行ないません。



■ 軌跡の記録を止める場合

① ストップ をタッチする。

：軌跡の記録を止めます。

■ 地図上に軌跡を表示する場合

※表示するだけで記録はされません。

① する をタッチする。

：軌跡を表示します。

軌跡を使う(2)

■ 地図上の軌跡の表示を止める場合

※表示を止めるだけで、メモリから消すわけではありません。

① **しない** をタッチする。

：軌跡の表示を止めます。

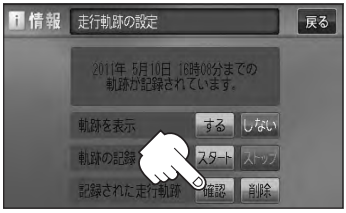
アドバイス 軌跡を記録中は、軌跡の表示を止めることはできません。

■ 記録した軌跡を確認する場合

※表示するだけで、記録はされません。

① **確認** をタッチする。

：軌跡が記録された地図が表示されます。



アドバイス 地図をスクロールして、地図上の軌跡を確認することができます。

■ 軌跡を削除する場合

① **削除** をタッチする。

：軌跡を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので、 **はい** をタッチします。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

登録地点の編集／見る(1)

マークをつけた場所の名称／マークを変更したり、電話番号(TEL)／メモの登録や登録地点に近づいたときのアラーム音の種類／フォルダを指定して登録した地点を探しやすくすることができます。

1 MENU を押す。

2 情報 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

3 編集したい項目(自宅編集 ／ 登録地点編集 ／ フォルダ名編集)を選択し、タッチする。

■ 自宅／登録地点を編集する場合

① 自宅編集 ／ 登録地点編集 をタッチする。

：自宅情報画面／登録地点編集画面が表示されます。

※ 登録地点編集 をタッチした場合は、さらにリストより編集したい登録地点を選択し、タッチしてください。

アドバイス

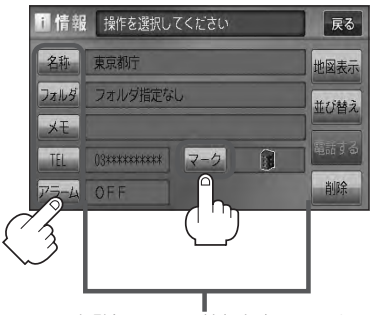
- C-21で フォルダ を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。登録地点を全て表示させるには 全表示 をタッチしてください。
- カーソルを登録地点マークに合わせ 設定 をタッチして設定メニューを表示させ 地点編集 をタッチして登録地点情報画面を表示させることもできます。

(例)フォルダ選択画面

登録地点の編集／見る(2)

② 変更／登録する項目(名称／フォルダ／メモ／TEL／マーク／アラーム)をタッチする。

(例)登録地点詳細画面



現在登録している情報を表示します。

名称 …名称を変更します。☞E-32

フォルダ …フォルダを選択します。☞E-32

メモ …メモを登録します。☞E-32

TEL …電話番号を登録します。☞E-33

マーク …マークを変更します。☞E-33

アラーム …アラーム音を変更します。☞E-34

□ 名称／メモを編集するとき

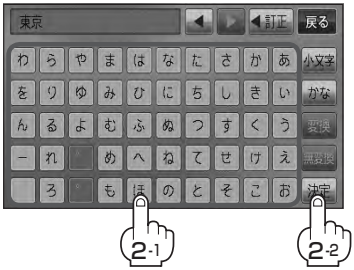
1. 名称／メモをタッチする。

：名称入力またはメモ入力画面が表示されます。

2. 文字を入力し、決定をタッチする。

：入力した文字の設定を保持し、登録地点編集画面に戻ります。

※ひらがな／漢字／カタカナを16文字まで半角英数字を32文字まで入力できます。☞入力方法につきましてはB-31を参考にしてください。



□ フォルダを変更するとき

1. フォルダをタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。

2. リストから移動させたいフォルダを選択し、タッチする。

：選択したフォルダに登録地点が移動し、登録地点編集画面に戻ります。

※自宅はフォルダの選択はできません。

アドバイス

- フォルダを指定していない場合は、MENUを押し、目的地 ➡ 登録地点 ➡ フォルダをタッチしてフォルダ選択画面を表示させたときにフォルダ指定なしをタッチすると登録した地点が表示されます。
  ※フォルダ(フォルダ01 ～ フォルダ20)を指定した場合は“フォルダ指定なし”には表示されません。
- フォルダ指定なし ～ フォルダ20に登録した内容は、☞「登録地点で地点を探す」C-21または☞「自宅／登録地点の地図を呼び出す」E-38でも確認できます。

□ **電話番号を編集するとき**

1. **TEL** をタッチする。

：電話番号編集画面が表示されます。

2. 数字をタッチし、**決定** をタッチする。

※12文字まで入力できます。
入力方法につきましてはB-32を参考にしてください。

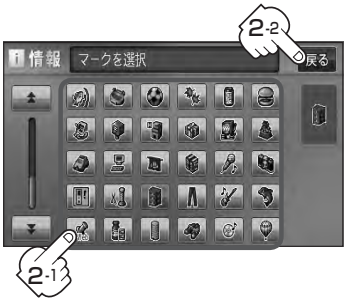
□ **マークを編集するとき**

1. **マーク** をタッチする。

：マーク編集画面が表示されます。

2. 変更したいマークをタッチして **戻る** をタッチする。

※ここで選んだマークが地図上に表示されます。



登録地点の編集／見る(3)

□ アラームを編集するとき

1. **アラーム** をタッチする。

   ：アラーム編集画面が表示されます。

2. お好みのアラーム音を選んでタッチする。

   ※ **OFF** を選択した場合、
   アラーム音は鳴りません。

3. 案内距離(**50m** ／ **100m** ／ **300m** ／ **500m**)を選択し、タッチする。

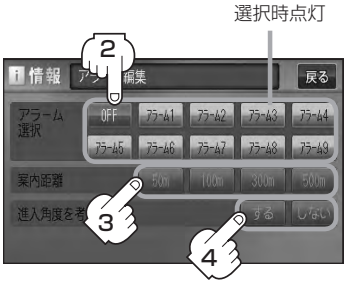
   ※選択した距離まで近付くと、アラーム音が鳴ります。

4. 特定の方向から登録地点に近づいたときにアラーム音を鳴らす場合は、進入角度を考慮 **する** をタッチする。

   ：進入方位編集画面が表示されます。

5. 矢印をタッチして、自車マークの方向を修正し、 **セット** をタッチする。

   ：アラーム編集画面に戻ります。



アラーム音の種類

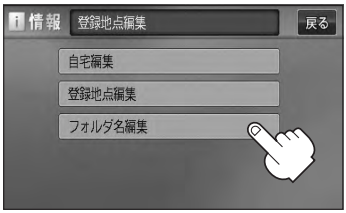
アラーム１	登録地付近です
アラーム２	チェックポイントです
アラーム３	スピードに注意してください
アラーム４	お帰りなさい
アラーム５	運転おつかれさまでした
アラーム６	効果音１
アラーム７	効果音２
アラーム８	効果音３
アラーム９	効果音４

アドバイス 進入角度を考慮 **する** に設定をした場合、左15° 右15° の範囲から登録地点に近付いたときにアラーム音を鳴らします。

6. **戻る** をタッチする。

■ フォルダ名を編集する場合

① **フォルダ名編集** をタッチする。



② リストから編集するフォルダを選択し
タッチする。

：フォルダ名編集画面が表示されます。

アドバイス **フォルダ指定なし** は編集できないため表示されません。

③ 訂正したい文字まで **◀訂正** をタッチする。

※全ての文字を訂正する場合は **◀訂正** を長めにタッチしてください。

④ 文字を入力し **決定** をタッチする。

入力方法につきましてはB-31を参考にしてください。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス 本機は“かな”を14文字入力すると文字が選択できなくなるため、14文字までに一度 **変換** ／ **無変換** をタッチして文字を確定し、再度残りの文字を入力してください。

登録地点を並び替える

登録地点編集画面に表示される地点の並び順を替えることができます。

1 MENU を押す。

2 情報 ➡ 地点編集 をタッチする。

3 登録地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。

アドバイス ☞C-21または、☞E-31で フォルダ を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

4 並び替えをしたい地点を選択し、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

※全ての登録地点を表示している場合は全登録地点での並び替え、フォルダで表示している場合は選択したフォルダ内での並び替えをします。
☞表示方法につきましては「登録地点の並び替えをする」C-23を参考にしてください。

(例)登録順で表示

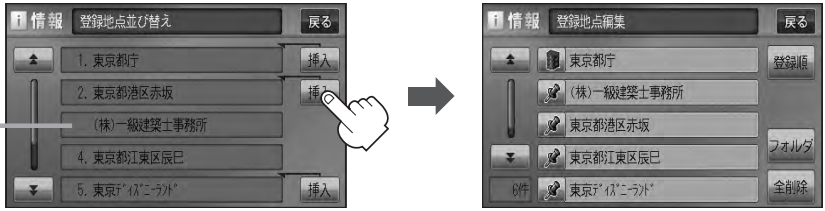
5 並び替え をタッチする。

：登録地点並び替え画面が表示されます。

6 挿入したい場所の 挿入 をタッチする。

例 1.東京都庁の下に挿入する場合

並び替えしたい地点の番号を赤色で表示



7 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 登録地点が自宅以外に２個以上ある場合に並び替えができます。１個の場合は 並び替え は表示されません。
- カーソル( )を登録地点マークに合わせ、 設定 ➡ 地点編集 をタッチして登録地点情報画面を表示させることもできます。

自宅／登録地点の地図を呼び出す

1 MENU を押す。

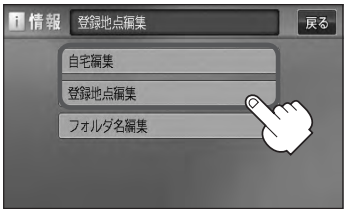
2 情報 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

3 自宅編集 ／ 登録地点編集 をタッチする。

：自宅の情報画面／登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。

※ 自宅編集 をタッチした場合は手順 5 へ進んでください。



アドバイス [☞] C-21または、[☞] E-31で フォルダ を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

4 登録地点の表示方法を選択し、登録地点をタッチする。

[☞] 表示方法につきましてはC-23を参考にしてください。

5 地図表示 をタッチする。

：自宅または選択した登録地点の地図が表示されます。

6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス
- 地図の呼び出しは、 MENU を押し、 目的地 ➡ 登録地点 をタッチしてもできます。[☞]「登録地点で地点を探す」C-21
- 電話番号が収録されている場合、登録地点編集画面に 電話する が表示されます。 電話する をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。（この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。）携帯電話を接続していない場合、 電話する は選択できません。（ボタンは暗くなります）☆
- 電話する をタッチして電話をかけると、ハンズフリーの発信履歴に電話番号のみ登録されます。☆[☞] D-28

☆印…VXM-128VSの場合

自宅／登録地点を削除する(1)

1 MENU を押す。

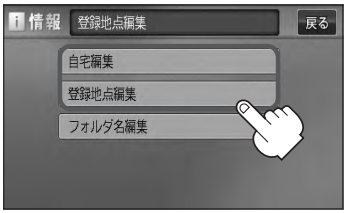
2 情報 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

3 自宅編集 ／ 登録地点編集 をタッチする。

：自宅の情報画面／登録地点編集画面／フォルダ選択画面が表示されます。

※ 自宅編集 をタッチした場合は手順 4 -② へ進んでください。



アドバイス ☞C-21または、☞E-31で フォルダ を選択している場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

4 登録地点を削除する。

■ 登録地点を選択して削除する場合

① 削除したい地点を選択し、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

② 削除 をタッチする。

：“登録地点を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい をタッチすると、地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。

自宅／登録地点を削除する(2)

■ 全ての登録地点を削除する場合

① **全削除** をタッチする。

：“全ての登録地点を削除してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、全地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。

5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 地点を削除すると、地図上からマークが消え、登録した名称／TEL／メモも全て消えてしまいます。一時的に、地図上からマークを消したい場合は、「表示項目の設定をする」F-11 をご覧ください。(この場合は、全ての登録地点マークが、地図上から消えます。)
- カーソル(−┼−)を登録地点マークに合わせ、 **設定** ➡ **地点編集** をタッチして登録地点情報画面を表示させることもできます。

ETC情報を見る(1)

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCの利用履歴や、ETC管理情報を表示することができます。

1 MENU を押す。

2 情報 ➡ ETC情報 をタッチする。

：ETC情報画面が表示されます。

3 履歴または管理情報を表示する。

■ 履歴を見る場合

① 利用履歴 をタッチする。

：今までの利用履歴が最大100件まで日付の新しい順に表示されます。

② 履歴をリストから選択し、タッチする。

：履歴の詳細情報が表示されます。

アドバイス 地図ソフトに収録されていない料金所につきましては、入口／出口料金所の名称は“登録なし”と表示されます。

ETC情報を見る(2)

■ 車載器情報を表示する場合

① **車載器情報** をタッチする。

：ETC本体の登録内容が表示されます。

■ カード情報を表示する場合

① **カード情報** をタッチする。

：カード情報内容が表示されます。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続すると、上記の方法でETC情報を確認することができます。接続可能なETC車載器(ナビ連動タイプ)について詳しくは、Honda販売店へご相談ください。

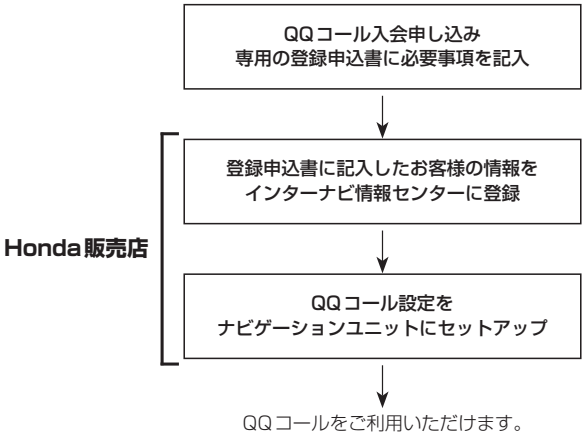
QQコールを利用する

QQコールとは

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHonda販売店やサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。
「QQコール」は、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/qqcall/

QQコールを利用するまでの流れ

QQコールを利用するには、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。



QQコールを表示する

QQコールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。
QQコール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

1 MENU を押す。

2 ■ VXM-128VSの場合

① 設定 ➡ 次へ ➡ 携帯電話 をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

注意 QQコールをご利用になるときは、本機にBluetooth対応携帯電話の初期登録を行なってください。

② QQコール ➡ 発信 をタッチし、
QQコールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

ここに現在地のマップコードが表示されます。

アドバイス
- 閉じる をタッチするとQQコールへの接続は行ないません。
- QQコールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- 発信 をタッチしてもつながらない場合や、バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。
- 走行中はQQコールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行なってください。

■ VXM-128Cの場合

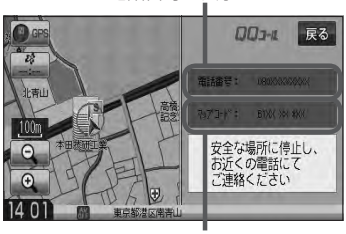
① 情報 ➡ QQコール をタッチする。

：QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。

② お手持ちの携帯電話を利用して表示されているQQコールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

QQコールの電話番号が表示されます。



ここに現在地のマップコードが表示されます。

3 会話終了後 閉じる をタッチすると、現在地の地図画面に戻る。

アドバイス

- QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能の操作が可能です。
  - ・地図表示(方位)の切り替え
  - ・地図の拡大／縮小
  - ・オーディオモードの音量調整
  - ・地図スクロール
  - ・オーディオモードのON／OFF
- 走行中はQQコールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行なってください。

F
設定

平均速度を設定する……F-2
ルート探索条件の設定をする……F-3
メイン画面／右画面の設定をする……F-7
3Dビューの角度を調整する……F-9
地図の色を設定する……F-10
表示項目の設定をする……F-11
ルート案内画面の設定をする……F-13
ランドマーク表示の設定をする……F-28
現在地(自車)の位置を変更する……F-30
自車マークの種類を設定する……F-32
音声案内の音量を調整する……F-33
VICS表示の設定をする……F-34
情報表示を止める……F-35
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について……F-35
ETCの各機能を設定する……F-36
ETCについて……F-39
ETCを利用する……F-40
ETCの基本操作……F-40
料金所通過表示について……F-40
予告案内／警告表示について……F-41
メンテナンス情報を設定する……F-42
設定したメンテナンス情報のお知らせを止める／消去する……F-46
携帯電話について☆……F-47
キー操作音の設定をする……F-48
データを初期化(消去)する……F-49
リアカメラ映像を設定する……F-51
リアカメラ映像を表示する……F-51
ビューの切り替えをする……F-51
リアカメラガイドを表示する……F-52
警告文の位置を下げる……F-53
リアカメラガイドの見かた……F-54
カメラの映像について……F-55
リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ)……F-56

☆印…VXM-128VSの場合

平均速度を設定する

ルート案内時に目的地までの到着予想時刻を表示させることができます。
そのとき、平均走行速度を設定しておけばより正確な到着予想時刻を知ることができます。

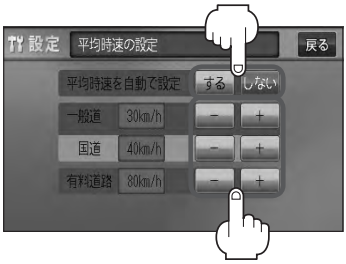
1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 到着予想 をタッチする。

：平均速度設定画面が表示されます。

3 平均速度を自動で設定の する ／ しない または各道路（一般道／国道／有料道路）の − ／ ＋ をタッチして平均走行速度を設定する。（5km/h単位）

※走行は実際の法定速度に従って走行してください。



アドバイス
- 平均速度を自動で設定 しない をタッチしてから、各道路の平均走行速度を設定してください。
- 平均速度を自動で設定 する に設定するとVICS情報を考慮して、目的地までの到着予想時刻を表示します。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

ルート探索条件の設定をする(1)

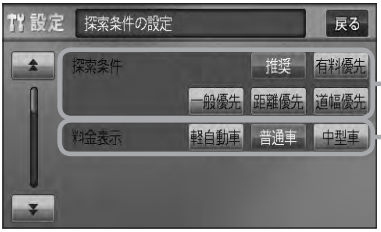
ルートを探索する条件を変更することができます。変更後の条件で探索します。

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 探索条件 をタッチする。

：探索条件の設定画面が表示されます。

3 探索条件を選び、タッチする。



探索する条件を設定します。

車種別に有料道路料金表示を設定します。

▼をタッチ　▲をタッチ

自動再探索する／しないを設定します。

フェリーを優先する／しないを設定します。

季節規制考慮する／しないを設定します。

時間規制／曜日規制を考慮する／しないを設定します。

- 祝祭日指定の時間規制のある道路は、一年中規制があるものとしてルート探索します。
- 実際の規制とは異なる場合もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。

▼をタッチ
☞ F-4

ルート探索条件の設定をする(2)

▲ をタッチ
☞F-3

利用できるスマートIC(SA／PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のIC)を利用する／しないを設定します。

過去の交通状況データや自車の走行履歴などをもとにしたルート学習結果を利用する／しないを設定します。

※ 距離優先 を選択している場合は、ルート学習結果を考慮しない場合があります。

▼ をタッチ　▲ をタッチ

VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しないを設定します。

※VICS情報考慮を“しない”に設定するとボタンが暗くなり選択できなくなります。

※FM VICSの場合は、規制による自動探索は行ないますが、渋滞による自動探索は行ないません。

VICS情報をもとに交通規制を考慮する／しないを設定します。

4 現在地の地図画面に戻るときは、現在地を押す。

アドバイス

- 手順 3 (☞F-3)で自動再探索を する に設定している場合、ルート案内中に探索条件を変更し、現在地 を押す／ 戻る をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で 一般優先 または 距離優先 を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。また、 有料優先 を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をしないこともあります。 道幅優先 を選択している場合でも細い道路を探索することもあります。
- 推奨 、 有料優先 、 一般優先 、 距離優先 、 道幅優先 は、いずれか1つ設定できます。
- フェリーを優先 する 設定にしていても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先する設定にしていても、フェリー航路を使用しない場合もあります。
- ここで設定した探索条件は、次に行なうルート案内探索の探索条件になります。

スマートICについて

- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
- 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行なっていますが、対象車種を考慮したルート探索は行なっていません。(営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。)

※ETCを搭載していない車両は通行できません。

※通行可能車両、通行可能時間等が制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

アドバイス

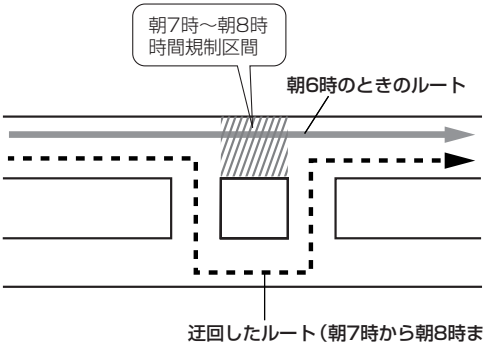
料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行なっても、料金は表示されません。
- 料金区間が2つ以上にまたがるとき、1つ目の料金所を通過して次の料金区間を走行していても、料金表示は2つの区間の合計値のままです。1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行なうと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行なった場合は、料金は表示されず「－－－円」になります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にある時も、料金の表示は「－－－円」になります。)
- "○○IC"を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない(－－－円)場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行なわない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート情報画面、ルート詳細情報画面、全ルート表示画面では出発地点から目的地地点までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は「－－－円」または実際の料金と異なる場合があります。

時間規制道路を考慮について

例)下記斜線部分が朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。

※ルート探索した時間が朝6時のときは、迂回しないルートを探索しますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると、自動的に再探索され迂回するルートに変わります。

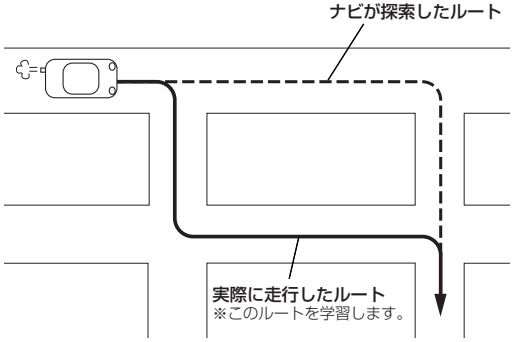


ルート探索条件の設定をする(3)

アドバイス

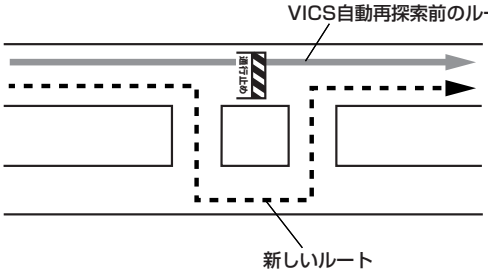
ルート学習結果について

ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。
※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。
※ルート学習結果を初期化するには「データを初期化(消去)する」F-49をご覧ください。



VICS自動再探索・VICS情報を考慮について

- VICS情報を考慮“する”は通行止めなどを考慮したルート探索となります。
- VICS情報を考慮“する”、VICS自動再探索“する”に設定しても、VICS情報を受信できていない場合は規制を考慮するルート探索やVICS自動再探索はされません。
- VICS自動再探索“する”に設定すると、ルート前方に通行止めなどの規制情報が存在した場合に、自動でルートを再探索します。
- 探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。



メイン画面／右画面の設定をする(1)

住所の色分け／吹き出し表示／名称の文字サイズ／地図モードを選ぶことができます。

1 MENU を押す。

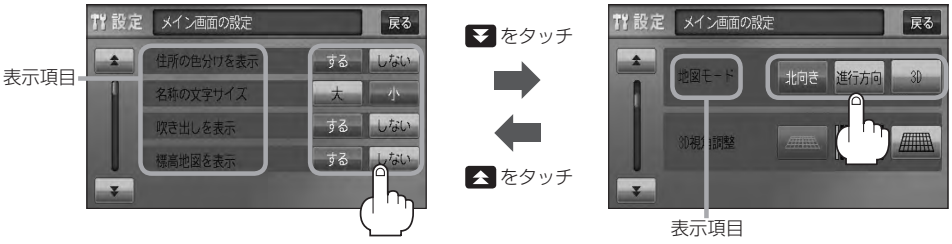
2 設定 ➡ 地図表示 をタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。

3 メイン画面または右画面の設定をする。

■ メイン画面の設定をする場合

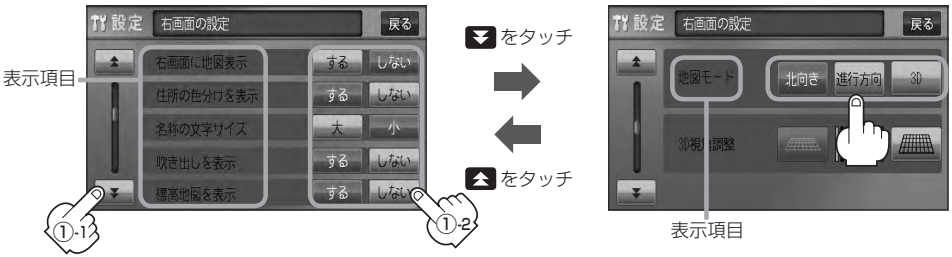
① “メイン画面の地図設定” から変更したい項目(する ／ しない 、 大 ／ 小 、 北向き ／ 進行方向 ／ 3D)を選択し、タッチする。



※3Dビューの角度調整につきましては「3Dビューの角度を調整する」F-9をご覧ください。

■ 右画面の設定をする場合

① を２回タッチし “右画面の設定” を表示させ、変更したい項目(する ／ しない 、 大 ／ 小 、 北向き ／ 進行方向 ／ 3D)を選択し、タッチする。



※3Dビューの角度調整につきましては「3Dビューの角度を調整する」F-9をご覧ください。

メイン画面／右画面の設定をする(2)

4 現在地の地図画面に戻るときは、現在地を押す。

“住所の色分けを表示”について

地図の縮尺レベルが2km以下の画面で都道府県や市区町村などの境ごとに色分けをする／しないの設定ができます。

“名称の文字サイズ”について

地図に表示されている名称の文字サイズを替えることができます。

文字サイズ大

文字サイズ小

“吹き出しを表示”について

高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を表示することができます。表示は収録されているデータに基づいて行なうため、収録されていない交差点では表示しません。

吹き出し

“標高地図を表示”について

地図の縮尺が5km以上の画面で、詳細な地形地図にする／しないの設定ができます。

“地図モード”について

- 地図表示(方位)を“北方向を上”“進行方向を上”“3D”に設定できます。
  地図表示(方位)は、地図画面の **方位** をタッチして切り替えることもできます。
  各地図表示の特長については「地図表示(方位)を切り替える」B-10をご覧ください。
- 1ルート探索／複数ルート探索やルート変更をするときに、目的地／経由地／出発地を登録する際の地図は“北方向を上”の地図になります。また、自車マークの位置／方位を修正する際の地図も、“北方向を上”の地図になります。

3Dビューの角度を調整する

メイン画面、2画面で3Dビュー表示時に、地図を見下ろす角度を高く設定すると、道路を上空から見下ろす感じで地図が表示され、低く設定すると、道路を水平方向から見る感じで地図が表示されます。

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 地図表示 をタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。

3 メイン画面または右画面の設定をする。

■ メイン画面の設定をする場合

① ▼▼ をタッチする。

■ 右画面の設定をする場合

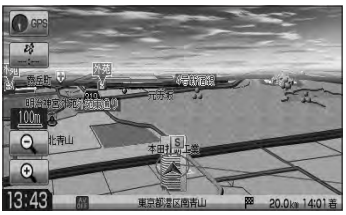
① ▼▼ を3回タッチする。

4 ／ をタッチして調整する。

：角度を下げます。

：角度を上げます。

見下ろし角度が低いとき



見下ろし角度が高いとき

5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

地図の色を設定する

平面・3D地図画面時の色(スモール連動／昼／夜／時間連動)と標高地図の色(季節連動／標準／春／夏／秋／冬)を選択することができます。

1 MENU を押す。

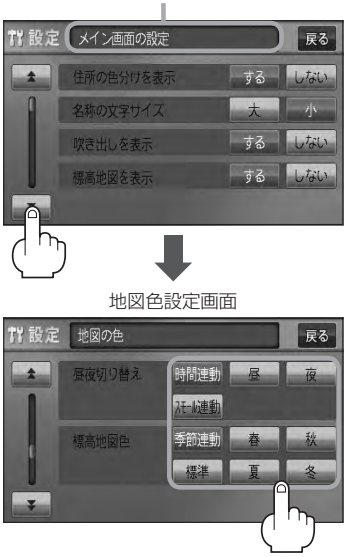
2 設定 ➡ 地図表示 をタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。

3 ▼を4回タッチしていき、
“地図の色” を表示させ、昼夜切り替え
(スモール連動 ／ 時間連動 ／ 昼 ／ 夜)または
標高地図色(季節連動 ／ 標準 ／ 春 ／ 夏 ／
秋 ／ 冬)を選択し、タッチする。

※ スモール連動 を選択した場合は、車のライトをONにすると夜モードの色に、ライトをOFFにすると昼モードの色に自動的に切り替わります。
時間連動 を選択した場合は、日付、時間と自車位置を考慮し、地図色を切り替えます。
季節連動 を選択した場合は、GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春、6月～8月は夏、9月～11月は秋、12月～2月は冬と自動的に切り替わります。

どの設定画面を表示しているか、この部分で確認できます。



4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

表示項目の設定をする(1)

地図画面や情報バーにMAPCODE／AUDIO情報／緯度・経度／登録地点の表示または非表示の設定、地図情報の表示設定を行ないます。

1 MENU を押す。

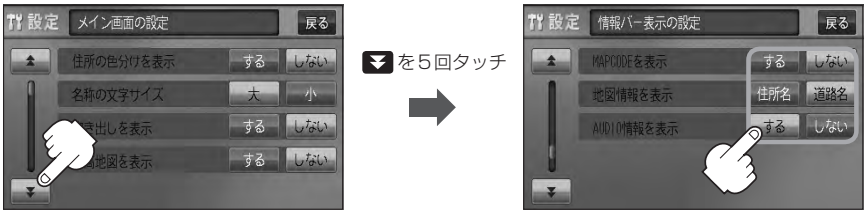
2 設定 ➡ 地図表示 をタッチする。

：メイン画面の設定画面が表示されます。

3 情報バー(MAPCODE／地図情報／AUDIO情報)表示または
その他(緯度・経度／登録地点)の設定をする。

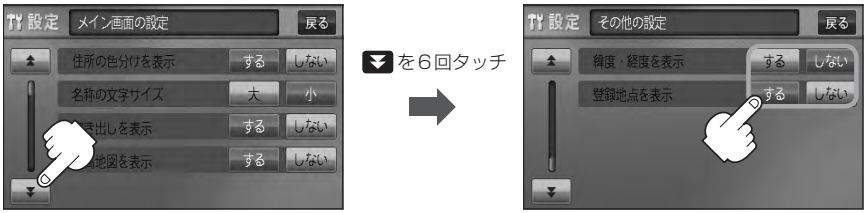
■ 情報バー表示の設定をする場合

① ⏬ を5回タッチし“情報バー表示の設定”を表示させ、
設定項目(する ／ しない 、 住所名 ／ 道路名)を選択し、タッチする。



■ その他の設定をする場合

① ⏬ を6回タッチし“その他の設定”を表示させ、
設定項目(する ／ しない)を選択し。タッチする。



4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

表示項目の設定をする(2)

“MAPCODEを表示”について

情報バー(現在地表示時は除く)に、マップコードを表示することができます。

“地図情報を表示”について

- 情報バーの表示を住所名または道路名のどちらを表示させるか選ぶことができます。
- 道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。
- GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。

道路名を表示する場合

“AUDIO情報を表示”について

現在地表示時に、情報バーに再生中の下記内容を表示することができます。

※CD／MP3／WMA、SD、USBを再生している場合は曲名を、FM／AMを再生している場合は周波数と放送局名を、ワンセグ☆を選択している場合は放送局名、DVD☆ビデオを再生している場合はタイトル／チャプター番号を表示します。また、再生しているモードのアイコンが表示されます。
各アイコンにつきましては「地図画面の見かた」B-8をご覧ください。

曲名を表示する場合

“緯度・経度を表示”について

地図画面(現在地表示時は除く)に、緯度・経度を表示することができます。

“登録地点を表示”について

しないにすると、一時的に地図上から登録地点マークを消すことができます。

☆印…VXM-128VSの場合

ルート案内画面の設定をする(1)

ルート案内時に表示する内容を設定します。
(全ルート／ルート色／ルート情報／JCTビュー／交差点拡大／交差点情報／リアル3D／方面看板／VICS案内／合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／盗難多発地点／AV画面中の案内割込み／目的地方向)

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ ルート案内 をタッチする。

：ルート案内の設定画面が表示されます。

3 設定する項目を選択しタッチする。

☞全ルートを表示……F-13
☞ルート色……F-14
☞ルート情報を表示……F-14
☞JCTビューを表示 ……F-16
☞交差点拡大図を表示……F-17
☞交差点情報を表示……F-18
☞リアル3Dを表示 ……F-19
☞方面看板を表示……F-20
☞VICS案内 ……F-21
☞合流案内……F-22
☞踏み切り案内……F-23
☞専用レーン案内……F-24
☞盗難多発地点案内……F-25
☞AV画面中の案内割込み ……F-26
☞目的地方向を表示……F-27

■ 全ルートの表示を設定する場合

ルート探索後に全ルートを表示するかしないかの設定をします。

① 設定(する ／ しない)を選択し、タッチする。

□ する をタッチしたとき

：ルート探索終了後、全ルートを表示します。

□ しない をタッチしたとき

：ルート探索終了後、全ルートを表示しません。

※複数ルート探索終了後は全ルート表示となります。

ルート案内画面の設定をする(2)

■ ルート色を設定する場合

設定ルートの色を変えることができます。

① 設定したい色(ピンク ／ 緑)を選択し、タッチする。

□ ピンク をタッチしたとき

：設定ルートの色をピンク色で表示します。

□ 緑 をタッチしたとき

：設定ルートの色を緑色で表示します。

アドバイス 設定ルートの色は ピンク ／ 緑 のどちらかを選んだ場合も、有料道路は青色になります。

■ ルート情報の表示を設定する場合

ルート情報の表示をするかしないかの設定をします。

① 設定(する ／ しない ／ ハイウェイモード)を選択し、タッチする。

□ する をタッチしたとき

：ルート案内時、ルート情報を表示します。

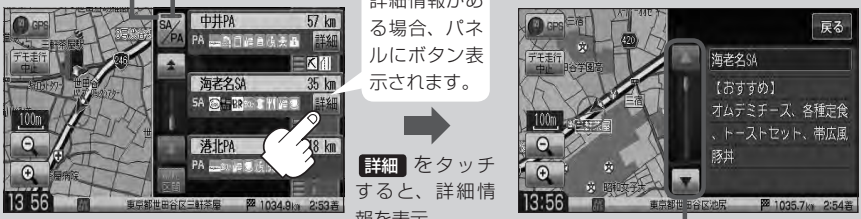
□ しない をタッチしたとき

：ルート情報を表示しません。

□ ハイウェイモード をタッチしたとき

：高速道路／一般有料道路走行時のみルート情報を表示します。

●ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金などを表示します。
● する をタッチした場合、ルート情報はルート案内時とデモ走行時に表示します。
ハイウェイモード をタッチした場合、ルート情報はルート案内時とデモ走行時に表示します。
●高速道路を走行中に、パーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)、料金所(￥)のボタンが表示された場合、そのボタンをタッチすると、特徴や施設情報などの詳細情報を表示することができます。(探索したルートに高速道路がある場合でも、その高速道路に情報がない場合はボタンは表示されません。)
●現在地表示時に MENU を押し、 右画面 ➡ ルート情報 をタッチして、右画面にルート情報を表示することもできます。
「右画面に地図／情報を表示する」B-28



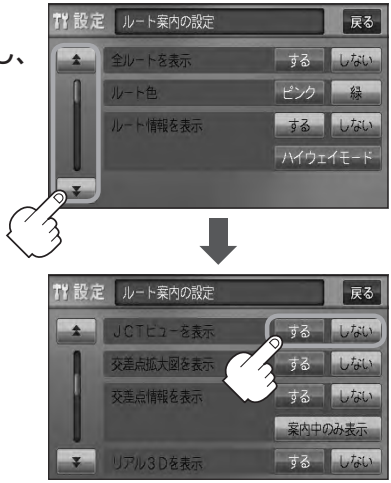
●走行中は詳細情報は表示できません。
＊印…ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中 SA／PA をタッチすると、サービスエリア・パーキングエリアのみルート情報を表示します。
再度 SA／PA をタッチするともとの情報に戻ります。
探索したルートに高速道路または有料道路がある場合でもその高速道路または有料道路にサービスエリアまたはパーキングエリアがないときは選択することができません。
●VICS情報を受信している場合、その区間の渋滞状況やVICS情報マークを表示します。
「(マークー覧表)」E-7

ルート案内画面の設定をする(3)

■ JCTビューの表示を設定をする場合

JCTビューの表示をするかしないかの設定をします。

① ▼▼をタッチし、“JCTビューを表示”を表示させ、設定(する／しない)を選択し、タッチする。



□ **する**をタッチしたとき

：JCTビューを表示します。

□ **しない**をタッチしたとき

：JCTビューを表示しません。

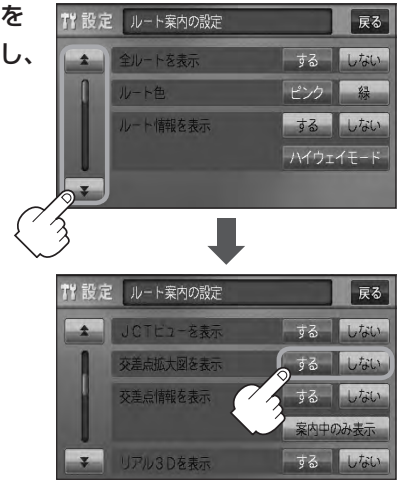
(例)JCTビュー表示

- 高速道路や都市高速道路のJCT(ジャンクション)分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づくと、その付近の案内図(JCTビュー)を表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面に戻ります。
- JCTビュー表示のとき ✕ をタッチすると、一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ をタッチしてください。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
  - ・データが収録されていない分岐点では、JCTビューはしません。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。

■ 交差点拡大図を表示を設定する場合

交差点拡大図を表示するかしないかの設定をします。

① ▼▼をタッチし、“交差点拡大図を表示”を表示させ、設定(する／しない)を選択し、タッチする。



□ **する** をタッチしたとき

：交差点拡大図を表示します。

□ **しない** をタッチしたとき

：交差点拡大図を表示しません。

- 主要な交差点に近づくと、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマーク(ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、公園など、目印となる施設)とともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合や、GPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大機能は正常に働きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合は、この機能は働きません。
- 交差点拡大表示のとき ✕ をタッチすると、一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ をタッチしてください。

(例)交差点拡大表示

※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

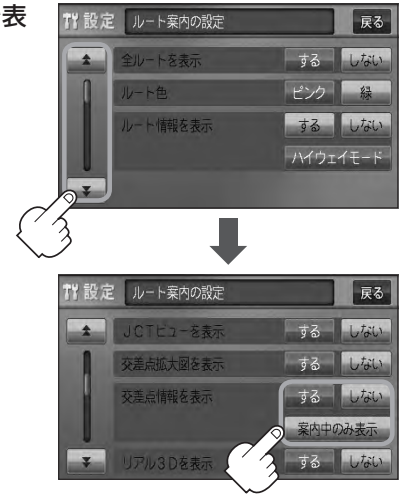
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行なうため、
  - ・データが収録されていない交差点では、交差点拡大表示はしません。
  - ・交差点によっては、交差点名やランドマークが表示されないものもあります。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

ルート案内画面の設定をする(4)

■ 交差点情報の表示を設定する場合

交差点情報を表示するかしないかの設定をします。

① をタッチし、“交差点情報を表示”を表示させ、設定(する ／ しない ／ 案内中のみ表示)を選択し、タッチする。



□ する をタッチしたとき

：走行中は常に交差点情報を表示します。

□ しない をタッチしたとき

：交差点情報を表示しません。

□ 案内中のみ表示 をタッチしたとき

：ルート案内時のみ交差点情報を表示します。

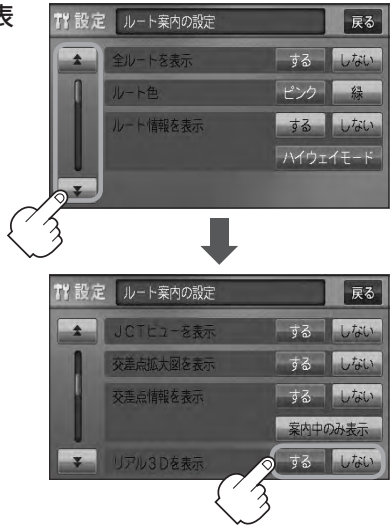
- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。(表示される距離は目安です。実際の距離とは異なる場合もあります。)

※次の交差点が10km以上の場合は交差点情報マークに“みちなり”と表示されます。
- する ／ 案内中のみ表示 に設定している場合、ルート案内時に曲がる方向を橙色の矢印で表示します。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。

■ リアル3Dの表示を設定する場合

リアル3D交差点を表示するかしないかの設定をします。

① ▼▼をタッチし、“リアル3Dを表示”を表示させ、設定(**する** ／ **しない**)を選択し、タッチする。



□ **する** をタッチしたとき

：リアル3D交差点を表示します。

□ **しない** をタッチしたとき

：リアル3D交差点を表示しません。

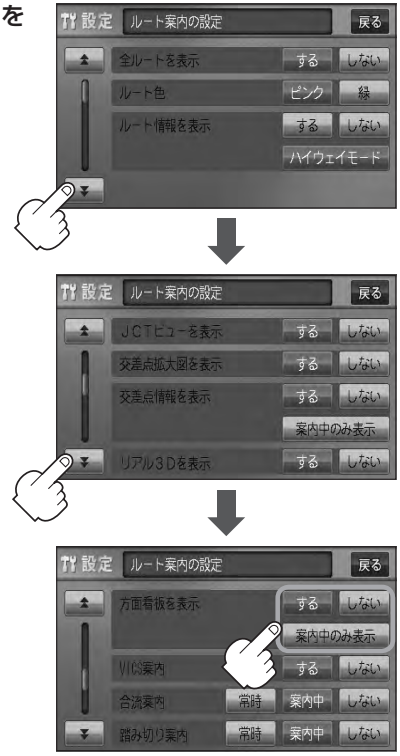
- ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。
- ✕ をタッチすると、リアル3D交差点表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ をタッチしてください。

ルート案内画面の設定をする(5)

■ 方面看板の表示を設定する場合

方面看板を表示するかしないかの設定をします。

① ▼を2回タッチし、“方面看板を表示”を表示させ、設定(**する** ／ **しない** ／ **案内中のみ表示**)を選択し、タッチする。



□ **する** をタッチしたとき

：走行中は常に表示します。

□ **しない** をタッチしたとき

：方面看板を表示しません。

□ **案内中のみ表示** をタッチしたとき

：ルート案内時のみ表示します。

- 全国の主要交差点の国道をはじめとした一般道の行き先案内を示す方面看板(案内標識)が表示されます。看板には方面、方向が表示されます。
- 方面看板表示は交差点の約1km手前で表示され、案内ポイントに近付くと約150m手前で交差点拡大表示に切り替わります。

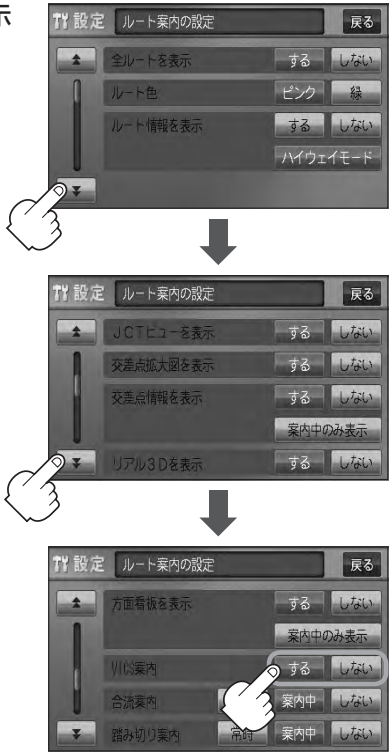
(例)方面看板表示

- 交差点までに距離がない(約150m未満の)場合は方面看板は表示せず、交差点拡大表示となります。
- **する** ／ **案内中のみ表示する** に設定している場合、ルート案内時に進む方向を橙色の矢印で表示します。
- ✕ をタッチすると、方面看板表示を一時的に消すことができます。もう一度、表示したい場合は ◀ をタッチしてください。

■ VICS案内の設定をする場合

ルート案内中にルート上に発生した渋滞や交通規制を音声でお知らせするかしないかの設定をします。

① ▼▼を2回タッチし、“VICS案内”を表示させ、設定(する／しない)を選択し、タッチする。



□ **する**をタッチしたとき

：ルート案内中に音声案内をします。
例)「およそ2km先、渋滞しています。」

□ **しない**をタッチしたとき

：音声案内を行ないません。

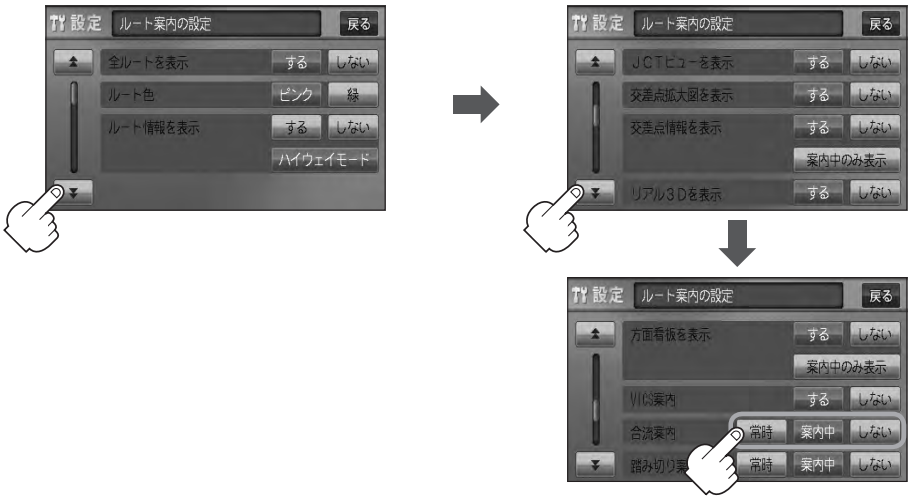
アドバイス VICS情報を受信できない場合などは、VICS案内の**する**を選択していても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。

ルート案内画面の設定をする(6)

■ 合流案内を設定する場合

高速道路の合流地点が近くなると音声でお知らせするかしないかの設定をします。

① ⏬を2回タッチし、“合流案内”を表示させ、
設定(常時 ／ 案内中 ／ しない)を選択し、タッチする。



□ 常時 をタッチしたとき

：ルートを設定していないときでも音声案内をします。

□ 案内中 をタッチしたとき

：ルート案内中に音声案内をします。

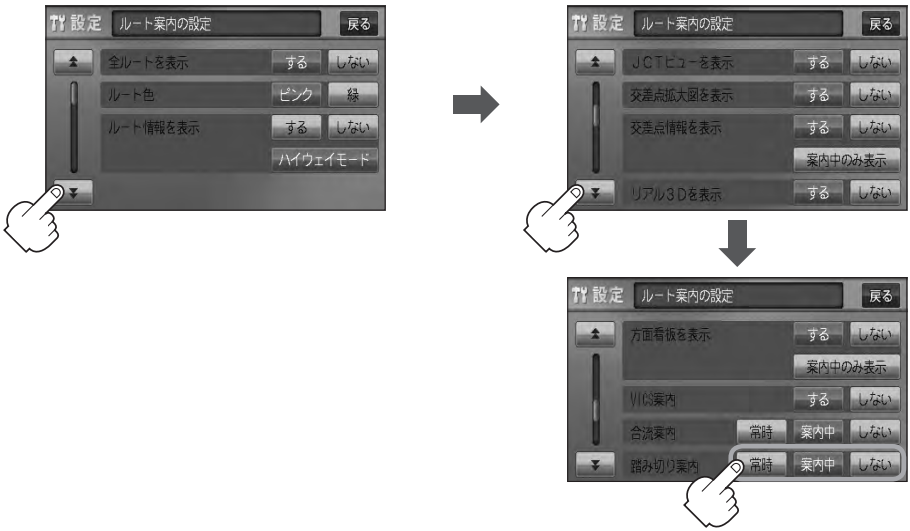
□ しない をタッチしたとき

：音声案内を止めます。

■ 踏み切り案内を設定する場合

踏み切りが近くなると音声でお知らせするかしないかの設定をします。

① ▼▼を２回タッチし、“踏み切り案内”を表示させ、
設定(常時／案内中／しない)を選択し、タッチする。



□ 常時 をタッチしたとき

：ルートを設定していないときでも音声案内をします。

□ 案内中 をタッチしたとき

：ルート案内中に音声案内をします。

□ しない をタッチしたとき

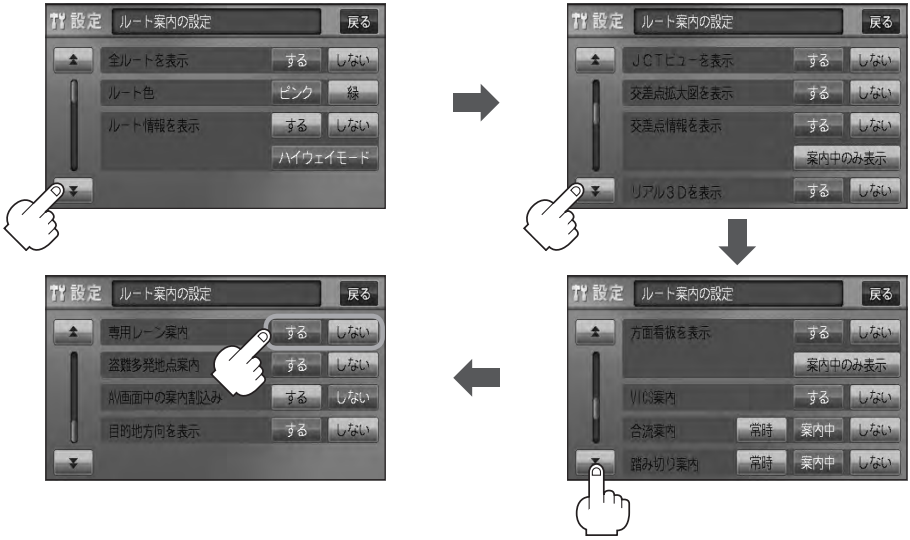
：音声案内を止めます。

ルート案内画面の設定をする(7)

■ 専用レーン案内を設定する場合

ルート案内中に右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声でお知らせするかしないかの設定をします。

① ▼▼を3回タッチし、“専用レーン案内”を表示させ、設定(する ／ しない)を選択し、タッチする。



□ する をタッチしたとき

：ルート案内中に音声案内をします。

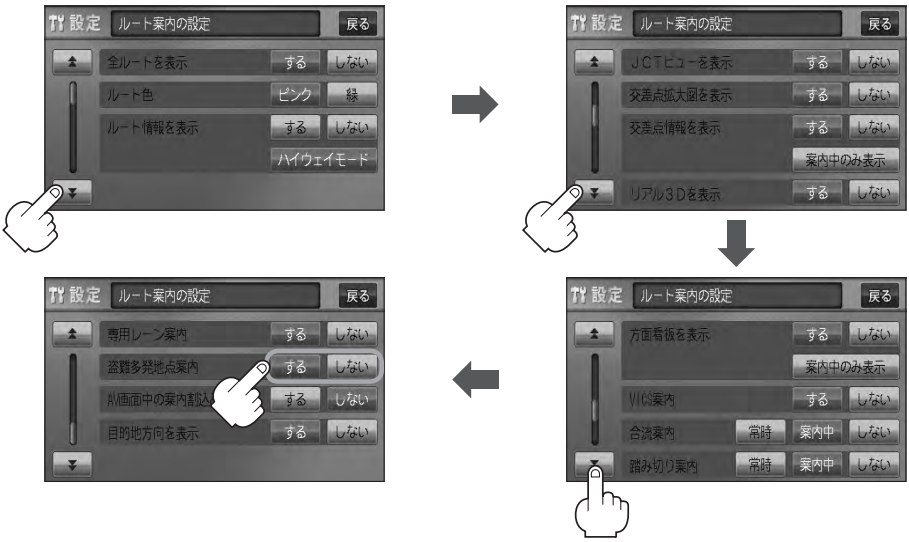
□ しない をタッチしたとき

：音声案内を止めます。

■ 盗難多発地点案内を設定する場合

盗難多発地点を表示するかしないかの設定をします。

① ▼▼を3回タッチし、“盗難多発地点案内”を表示させ、
設定(**する** ／ **しない**)を選択し、タッチする。



□ **する** をタッチしたとき

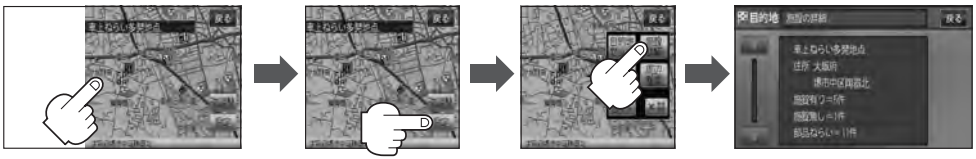
：地図上に盗難多発地点(▣マーク)を表示します。

□ **しない** をタッチしたとき

：地図上に盗難多発地点(▣マーク)を表示しません。

- **する** を選択した場合は、地図画面で画面をタッチし地図をスクロールさせて▣マークにカーソルを合わせると、多発地点の詳細情報を見ることができます。

※▣マークは地図の縮尺スケールが200m以下で表示されます。
「地図を拡大／縮小する」B-15



スクロールし、▣マークに合わせる。

設定 をタッチする。

施設詳細 をタッチする。

：過去に盗難があった地点の情報が表示されます。

ルート案内画面の設定をする(8)

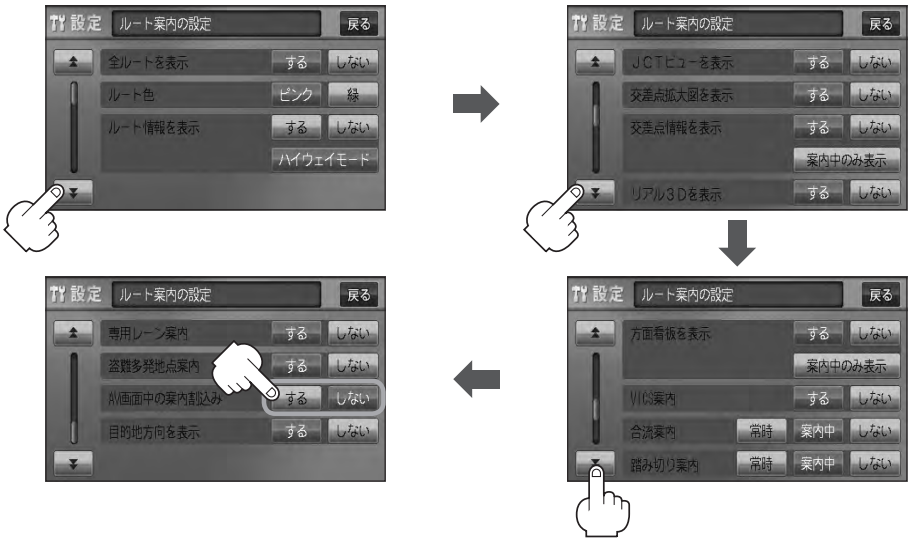
アドバイス

- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に適応しています。
- 盗難多発地点の マークの表示は3段階で表示しています。最も盗難の危険が高い場合は赤色、次に盗難の危険が高い場合は黄色、盗難の危険が低い場合は青色で表示しています。(各府県によって基準は異なります。)
- 盗難多発地点を目的地に設定した場合、ルート探索前に“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声の後にルート探索を開始します。目的地付近を走行すると“目的地付近で車上ねらい等が多発しています。ご注意ください。”というメッセージと音声でお知らせします。
- 3Dビューでは マークの表示はされますが、地図画面上に“車上ねらい多発地点”は表示されません。また、 設定 をタッチして詳細情報を確認することもできません。詳細情報を確認したい場合は、地図表示を切り替えてください。
  「地図表示(方位)を切り替える」B-10

■ AV画面中の案内割込みを設定する場合

AV画面表示中に右折または左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替わりルート案内をするかしないかの設定をします。

① を3回タッチし、“AV画面中の案内割込み”を表示させ、設定(する ／ しない)を選択し、タッチする。



□ する をタッチしたとき

：AV画面表示中に右折や左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替わりルート案内をします。ルート案内終了後、AV画面に戻ります。

□ **しない** をタッチしたとき

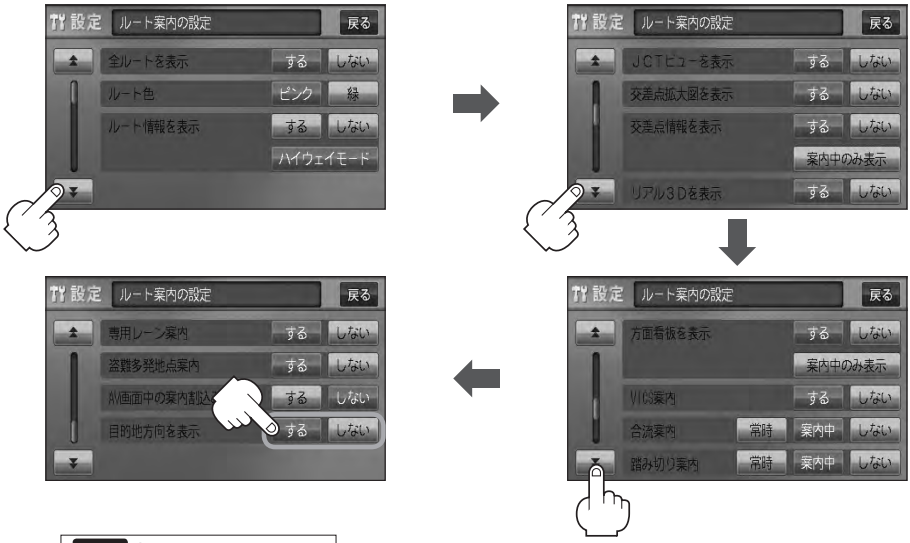
：案内割込みが発生しても、ナビゲーション画面に切り替わりません。

アドバイス
- AV画面中の案内割込みを **する** に設定しているとき、AV画面表示中に、右折や左折などの案内割込みが発生しても、AV画面を操作している場合はNAVI画面に切り替わりません。
- AV画面中の案内割込みを **する** に設定しているとき、NAVI画面に切り替わった際にNAVI画面を操作すると、AV画面には戻りません。

■ 目的地方向の表示を設定する場合

自車マークから目的地まで直線で表示するかしないかの設定をします。

① ⏬ を3回タッチし、“目的地方向を表示”を表示させ、設定(する ／ しない)を選択し、タッチする。



□ **する** をタッチしたとき

：自車マークから目的地まで直線で表示します。

□ **しない** をタッチしたとき

：自車マークから目的地まで直線で表示しません。

4 **現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。**

アドバイス 合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／盗難多発地点案内／AV画面中の案内割込みなどの音量調整につきましては、「音声案内の音量を調整する」F-33をご覧ください。

ランドマーク表示の設定をする

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ ランドマーク をタッチする。

：ランドマーク設定画面が表示されます。

3 リストから表示したいジャンルを選んでタッチする。

：詳細施設が表示されます。

※ランドマーク名横に▶マーク(詳細施設)がない場合は、手順 5 (☞F-29)へ進んでください。

4 リストから表示したい詳細施設を選んでタッチする。

：選択した施設にチェックマーク( )が付きます。 全選択 をタッチすると全施設にチェックマーク( )が付きます。

5 戻る をタッチする。

：選択したジャンルにマーク( )が付きます。

■ マークの表示を止める場合

□ **駐車場**、**トイレ**、**道の駅** の表示を止めるとき

手順 **3** (☞F-28)で再度ボタンをタッチしてチェックマーク( )を消します。

□ その他のジャンルの表示を止めるとき

手順 **3** (☞F-28)でジャンルをタッチし、手順 **4** (☞F-28)で詳細施設をタッチして( )を消します。
※全解除したい場合は、 **全解除** をタッチします。

6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

- 縮尺スケールが400m以上の場合は、ランドマークは表示されません。
  ☞「地図を拡大／縮小する」B-15
- 複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。不要な施設は表示をやめることをおすすめします。
- ランドマークにカーソル(−┼−)を合わせると、地図画面上に施設名が表示されます。
  設定 をタッチして設定メニューを表示させ、 **施設詳細** をタッチすると施設の詳細情報を見ることができます。
- 施設に電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。
  電話する をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。)☆
  ※携帯電話を接続(登録)していない場合、 **電話する** は選択できません。(ボタンは暗くなります)☆☞0-5

☆印…VXM-128VSの場合

(例)詳細情報画面

現在地(自車)の位置を変更する

走行環境やGPS衛星の状態などにより、現在地(自車)マークの位置／角度が実際の車の位置／角度とずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行すると、自動的に現在地(自車)マークの位置／角度が修正されますが、下記の手順で、ご自分で修正することもできます。

1 地図をスクロールし、自車マークを表示する場所にカーソル(−┼−)を合わせる。

最も詳細な地図を選んでおくと、より正確な位置の修正ができます。

2 MENU を押す。

3 設定 ➡ 現在地 をタッチする。

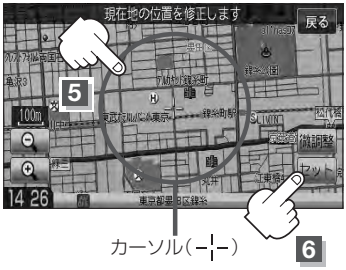
：現在地設定画面が表示されます。

4 自車位置設定の 修正 をタッチする。

5 カーソル(−┼−)の位置を確認し、必要であれば画面をタッチして修正する。

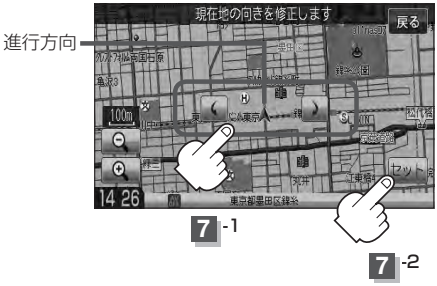
6 セット をタッチする。

：角度修正画面になります。



7 矢印をタッチして、現在地(自車)マークの角度を修正し、 セット をタッチする。

：“現在地を修正しました”とメッセージを表示し、現在地画面に戻ります。



アドバイス

- 現在地から目的地までのルート探索をする際、現在地(自車)マークの位置／角度がまちがっている場合は、必ず修正してください。
- 現在地(自車)マークの位置／角度を修正する際の地図は“北方向を上”の地図になります。
- GPSを受信すると、受信した位置を表示します。
- 地図画面をスクロールさせるには「地図スクロール(地図を動かす)」B-12をご覧ください。

自車マークの種類を設定する

自車マーク種類を選ぶことができます。

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 現在地 をタッチする。

：現在地設定画面が表示されます。

3 マークの種類(エスロク ／ Nコロ ／ バイク ／ ジェット ／ ペンギン ／ 矢印)を選択し、タッチする。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

音声案内の音量を調整する

ルート案内時の音声案内の音量を調整することができます。

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 案内音量 をタッチする。

：ルート案内の音量設定画面が表示されます。

3 ■ 音声案内の音量調整をする場合

① − ／ ＋ をタッチして、
お好みの音量に調整する。

：調整時に“この音量でご案内します”と音声が鳴ります。

■ 音声案内を止める場合

① 消音 をタッチする。

：消音ボタンが点灯し、音声が消えます。
※音声を出したい場合は、もう一度 消音 をタッチしてください。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 音声案内は前側の右スピーカーから出力されます。
- ルート案内時に音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報も聞きたい場合は、 現在地 を押すと、音声案内を聞くことができます。
- 上記手順 3 で 消音 を選択している場合、 現在地 を押しても音声案内を聞くことはできません。
- 各音声案内（合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／AV画面中の案内割込み）を設定することができます。各設定につきましては、「ルート案内画面の設定をする」F-22をご覧ください。
- MENU を押し、クイックMENUの 案内音量 からでも音量設定画面に入り、設定することができます。★

★印…VXM-128Cの場合

VICS表示の設定をする

地図画面に交通情報(レベル3)を表示する道路や表示する項目の設定をすることができます。
☞「交通情報(VICS情報)について」E-3

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 次へ をタッチする。

3 VICS をタッチする。

：VICS表示設定画面が表示されます。

4 表示したい項目(駐車場 、 規制 、 渋滞無し 、 渋滞混雑)をタッチする。

※項目ボタンをタッチし、表示灯を点灯／消灯するたびに、マークや矢印の表示／非表示が切り替わります。

5 表示したい道路(一般道 ／ 有料道)をタッチする。

一般道 …一般道路に対し交通情報を表示します。
有料道 …有料道路に対し交通情報を表示します。

6 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

情報表示を止める

F-34の手順 **4** の設定画面で、表示を止めたい項目(**駐車場**、**規制**、**渋滞無し**、**渋滞混雑**)、F-34の手順 **5** で表示を止めたい道路(**一般道**、**有料道**)をタッチし、表示灯を消灯させます。

アドバイス

- 表示したい項目の表示灯を点灯させても、レベル3表示されない場合は、表示中の地域に情報がない、または表示中の縮尺がレベル3表示できない縮尺であることが考えられます。
- **情報が多い場合は、レベル3表示するまでに数秒かかることがあります。**
- レベル3表示は、地図スクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。
- 地図画面に交通情報(レベル3)を表示する場合は、交通情報(VICS)を受信する設定にし、VICS放送局(☞E-7)を受信してください。
  ☞「受信する情報を選ぶ」E-10
  ☞「交通情報／一般情報を選局する」E-16

レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について

1 **手順 4 (☞F-34)または手順 5 (☞F-34)で、点滅をタッチして、表示灯を点灯させると、レベル3の矢印表示が点滅します。**

※もう一度 **点滅** をタッチして表示灯を消灯させると、矢印は点滅しません。

2 **現在地の地図画面に戻るときは、現在地を押す。**

ETCの各機能を設定する(1)

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCカード挿入アイコンやETCレーンの非表示／表示、料金所通過確認ブザーやETC音声ガイドの有無の設定をすることができます。

詳しくは別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 次へ をタッチする。

3 ETC をタッチする。

：ETC画面が表示されます。

4 設定する項目を選択し、タッチする。

■ カード挿入アイコン表示の設定をする場合

① カード挿入アイコン表示(する ／ しない)を選択し、タッチする。

□ する をタッチしたとき

：ETCカードを挿入すると情報バーにETCアイコンが表示されます。

□ しない をタッチしたとき

：ETCカードを挿入しても情報バーにETCアイコンが表示されません。

アドバイス

カード挿入アイコン表示を する に設定している場合、有効期限の切れたETCカードを別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に挿入すると、情報バーにETCアイコンが表示されますが、ETCゲートは通過できませんのでご注意してください。

■ ブザーの設定をする場合

① ブザーの設定(する ／ しない)を選択し、タッチする。

□ する をタッチしたとき

：ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時にETC車載器のブザーを鳴らします。

□ しない をタッチしたとき

：ブザーは鳴りません。

■ 音声案内を設定する場合

① 音声案内の設定(する ／ しない)を選択し、タッチする。

□ する をタッチしたとき

：利用料金等をナビゲーション本体から音声案内します。

□ しない をタッチしたとき

：音声案内しません。

■ ETCレーン表示の設定をする場合

① ETCレーン表示の設定(する ／ しない)を選択し、タッチする。

□ する をタッチしたとき

：料金所の手前でETCレーンを表示します。

□ しない をタッチしたとき

：ETCレーン表示は行ないません。

■ カード入れ忘れ警告の設定をする場合

① カード入れ忘れ警告(する ／ しない)を選択し、タッチする。

□ する をタッチしたとき

：車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にしたときにETCカードが挿入されていない場合、音声と画面でお知らせします。

□ しない をタッチしたとき

：カード未挿入警告はしません。

アドバイス ETCレーン表示の設定は、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続しなくても設定することができます。

ETCの各機能を設定する(2)

■ カード有効期限案内の設定をする場合

① カード有効期限案内(**する** ／ **しない**)を選択し、タッチする。

□ **する** をタッチしたとき

：ETCカードの有効期限の2ヶ月前または、有効期限が切れている場合、ETCカードを挿入するもしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にすると音声と画面でお知らせします。

□ **しない** をタッチしたとき

：カード有効期限案内のお知らせはしません。

■ 表示割込み時間の設定をする場合

① 表示割込み時間(**5秒** ／ **10秒** ／ **15秒** ／ **30秒** ／ **しない**)を選択し、タッチする。

□ **5秒** ／ **10秒** ／ **15秒** ／ **30秒** をタッチしたとき

：ETC関係のお知らせがそれぞれの時間で表示されます。

□ **しない** をタッチしたとき

：ETC関係のお知らせは表示されません。

アドバイス **しない** に設定していても料金通過時、料金支払時は表示割込みされます。

5 現在地の地図画面に戻るときは、現在地を押す。

アドバイス 手順 **4** (☞F-36)のETCレーン表示の **する** ／ **しない** の設定は、常に変更できますが、他の設定は、本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合のみ変更できます。

ETCについて

別売

ETCは財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

＜ETCとは＞

インターチェンジランプなどの料金所では、いったん、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。

しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。

ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)ユニットは、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器(ナビ連動タイプ)間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行なわずに、自動的に料金支払いができるシステムです。

ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。

通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。

※ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

＜ETCを利用するには＞

ETCをご利用になるには、ETC車載器(ナビ連動タイプ)のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。

カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法につきましては、ETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の取扱説明書をご覧ください。

お願い

ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。

ETCを利用する

別売

ETCの基本操作

ETCカードの挿入や取り出しにつきましては、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の取扱説明書をご覧ください。

料金所通過表示について

1 料金所手前でETCレーンが表示されます。

※F-36の手順 **4** でETCレーン表示 **する** に設定している場合のみ表示されます。

2 ETCゲートを通過すると「利用料金は○○円でした」という音声ガイドが流れ、利用金額と利用時刻が画面に表示されます。

アドバイス

- この機能を利用するには、別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)が必要となります。
  「別売品(システムアップ)について」P-57
- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ETCレーン表示(F-36の手順 **4**)を **しない** に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ETCカード未挿入でETC予告アンテナ付近を通過すると、音声でお知らせと、"ETCが利用できません。停車してください。"と画面にメッセージが表示されます。

予告案内／警告表示について

ETC車載器からの予告案内、警告情報を受信すると、予告案内または警告情報が表示、一部音声でのお知らせをします。
内容は以下のとおりです。

＜予告案内＞

料金所に予告アンテナ／ETC予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

“ETCが利用できません”
“ETCが利用可能です”

＜警　告＞

“ETCカードを確認してください”

ETCカードが故障、またはカードがETCでないときに表示されます。

“ETCに異常が検出されました 販売店に連絡してください”

ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができないときに表示されます。

“ETCカードが挿入されていません”

ETCカードを挿入しないで、☞「■ カード入れ忘れ警告の設定をする場合 」F-37で **する** に設定している場合、本機起動時に表示されます。

“ETCユニットがセットアップされていません”

ETC車載器本体がセットアップされていないときに表示されます。

“ETCカードの有効期限が切れていますETCがご利用できません”

有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にすると、☞「■ カード有効期限案内の設定をする場合 」F-38で **する** に設定した場合、音声と画面でお知らせします。

メンテナンス情報を設定する(1)

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のオイルや消耗部品の交換・イベント時期などがきたことを音と画面でお知らせします。

■**日付の設定**：オイル交換／クリーンフィルター交換／車検・点検／タイヤローテーション／結婚記念日／誕生日１／誕生日２／お好み

■**距離の設定**：オイル交換／クリーンフィルター交換／タイヤローテーション

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 次へ をタッチする。

3 お知らせ をタッチする。

：お知らせ設定画面が表示されます。

4 設定項目(オイル交換 ／ クリーンフィルター交換 ／ 車検・点検 ／ タイヤローテーション ／ 結婚記念日 ／ 誕生日１ ／ 誕生日２ ／ お好み)を選択し、タッチする。

：各設定の詳細画面が表示されます。

お知らせ設定画面１

をタッチ

をタッチ

お知らせ設定画面２

5 交換時期や記念日の設定をします。

アドバイス
日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定してください。項目によっては日付のみの場合があります。

■ 日付の設定をする場合

(例)オイル交換設定詳細画面

① 年月日の 設定 をタッチする。

：年月日入力画面が表示されます。

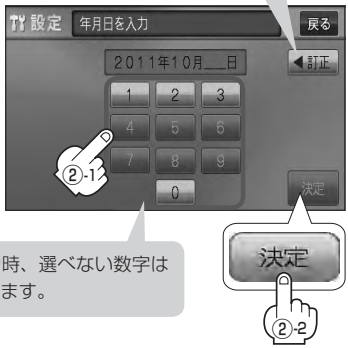
② 数字をタッチして日付を入力し、決定 をタッチする。

：1つ前の画面に戻ります。

入力方法はB-32を参考にしてください。

※年の入力は西暦(4桁)で入力します。
ひと桁の月日を設定するときは前に「0」を付けてください。
例)2011年10月15日は「 2 0 1 1 1 0 1 5 」とタッチする。

入力した数字を訂正する場合
◀訂正 をタッチします。
全ての数字を訂正する場合
◀訂正 を長めにタッチします。



数字入力時、選べない数字は暗くなります。

アドバイス
- 日付の設定はお知らせしたい年の西暦(年)を入力してください。
- 設定した日付がすぎたら、もう一度、日付の設定をしなおしてください。

■ 通知開始日の設定をする場合

① 通知開始の 設定 をタッチする。

：タッチするたびに
→ 3日前から → 7日前から → なし(当日) →
と切り替わります

(例)

メンテナンス情報を設定する(2)

■ **距離の設定をする場合**（オイル交換・クリーンフィルター交換・タイヤローテーション選択時）

① **－** ／ **＋** **をタッチして距離を設定する。**

※設定距離は500～3万kmの範囲で、500km単位で設定できます。

（例）

距離の設定をする場合に表示されます。

アドバイス

- 設定した距離がすぎたら手順 **1** ～ **4**（☞F-42）にしたがって操作し詳細画面を表示させ、情報の消去（☞F-46）を行なってから、もう一度距離の設定をしなおしてください。
- 一定通知距離を設定した後、通知距離に満たない距離を走行した状態で、通知開始距離を短く設定した場合（通知距離“0”表示）次のエンジンスイッチⅠ（アクセサリー）／Ⅱ（ON）でメンテナンス情報が表示されます。このような場合は一度設定消去を行ない、通知開始距離を現在の走行距離から通知距離に再設定しなおしてください。

■ **名称の編集をする場合**（お好み選択時）

① **名称編集** **をタッチする。**

：名称編集画面が表示されます。

② **◀訂正** **をタッチして訂正したい文字を削除する。**

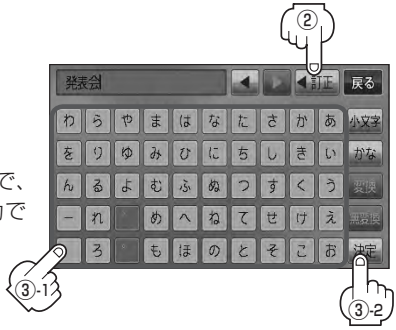
※全ての文字を訂正する場合は、 **◀訂正** を長めにタッチしてください。

③ **文字をタッチして入力し、決定** **をタッチする。**

☞入力方法はB-31を参考にしてください。

※かな、全カナ、全英字、全数記を5文字まで、半カナ、半英字、半数記を10文字まで入力できます。

：お好み設定詳細画面に戻ります。



6 戻る をタッチする。

：お知らせ設定画面が表示され、設定した項目のお知らせ設定は する が選択されます。（ボタン点灯）

7 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 通知開始設定の日になった／設定日当日になった／設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーションを立ち上げた(起動した)ときにそれぞれの画面でお知らせします。

※ お知らせ不要 をタッチすると現在地表示画面に切り替わり、次回起動時からは案内されません。

(例)設定当日

- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきましたHonda販売店へご相談ください。
- メンテナンス情報の設定をしていても、お知らせ設定を しない にしているときは案内されません。「■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合 」F-46
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期はお車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

メンテナンス情報を設定する(3)

設定したメンテナンス情報のお知らせを止める／消去する

■ メンテナンス情報のお知らせを止める場合

① F-42手順 **1** 、 **2** に従って操作し、
各設定項目の **しない** をタッチする。

※お知らせしたいときには、再度 **する** をタッチしてください。

■ メンテナンス情報の設定を消去する場合

① F-42手順 **1** 、 **2** に従って操作し、
設定を消去する項目を選びタッチする。

② **設定消去** をタッチする。

：設定を消去してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** をタッチします。

携帯電話について

VXM-128VS

Bluetooth対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 次へ をタッチする。

3 携帯電話 をタッチする。

：携帯電話画面が表示されます。

4 各操作につきましては☞ 0-1 をご覧ください。

キー操作音の設定をする

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 次へ をタッチする。

3 その他 をタッチする。

：その他画面が表示されます。

4 キー操作音(する ／ しない)を選択し、タッチする。

■ キー操作音を出す場合

① する をタッチする。

■ キー操作音を出さない場合

① しない をタッチする。

5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

データを初期化(消去)する(1)

本機に登録・設定された内容(登録地点、登録ルートなど)やSDカードにあるデータ、センサー学習結果、ルート学習結果を初期化することができます。

1 MENU を押す。

2 設定 ➡ 次へ をタッチする。

3 その他 をタッチする。

：その他画面が表示されます。

4 初期化 をタッチする。

：初期化画面が表示されます。

5 初期化したい項目(SDカードの初期化 ／ センサー学習結果の初期化 ／ ルート学習結果の初期化 ／ 出荷状態に戻す)をタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい を画面に従って選択します。

データを初期化(消去)する(2)

お願い

- **初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で [はい] を選択すると、お客様の登録情報は消去され、二度と復帰しません。**

※すでにデータが書き込まれている“SDカード”を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)

- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

アドバイス

- 初期化が終了したら、車のエンジンスイッチ(電源)を0(ロック)にしてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 手順 **4** (☞F-49)で選択する項目によって初期化される内容が異なります。
  - [SDカードの初期化] ボタン ……SDカードにあるデータを初期化します。
  - [センサー学習結果の初期化] ボタン …車の走行状況を初期化します。
  - [ルート学習結果の初期化] ボタン ……本機のルート学習機能を初期化します。
  - [出荷状態に戻す] ボタン ……個人情報に関する設定を工場出荷時の状態に戻します。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位)を学習し、記録しています。
  (センサー学習度)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習度の初期化を行なってください。
- 本機はルート案内中に通った道を学習しており、ルート設定では学習した道を探索しやすくなります。従って、他の効率の良い道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。
- [出荷状態に戻す] を行なったときは、オーディオモードがOFFになります。

リアカメラ映像を設定する(1)

車両標準装備
別売

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。
(リアカメラの映像を調整するには☞「画質調整のしかた」P-2をご覧ください。)

リアカメラ映像を表示する

■ 車のセレクトレバーをリバースに入れた場合

：リバースに入れている間は、リアカメラの映像を表示します。その間、後方確認のメッセージが表示されます。

■ 車のセレクトレバーをリバース以外に入れた場合

：もとの画面に戻ります。

(例)リアカメラ映像

ビュー はリアワイドカメラ接続時のみ表示されます。

ビューの切り替えをする (リアワイドカメラ接続時のみ)

1 リアカメラ映像画面表示中に **ビュー** をタッチする。

：ビュー切り替えボタンが表示されます。

2 ビュー切り替えボタン(**ノーマル** ／ **ワイド** ／ **トップダウン**)をタッチする。

：それぞれのリアカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューはグレーアウトとなりタッチできません。

※ビューの切り替えボタン表示後、5秒間操作がない場合はビュー切り替えボタンが消えます。

お願い

ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが、十分に周囲の安全を確認してから行なってください。

リアカメラ映像を設定する(2)

車両標準装備
別売

リアカメラガイドを表示する

1 パーキングブレーキをかけた車のセレクトレバーをリバースに入れ、リアカメラ映像画面を表示し、画面をタッチして **ガイドON** をタッチする。

：リアカメラガイドが表示されます。

ガイドON ↔ **ガイドOFF** と切り替わります。

アドバイス **ガイドON** ↔ **ガイドOFF** はパーキングブレーキをかけなくてもボタンをタッチすることができますが、周囲の安全を確認してから行なってください。

2 表示を止めるには画面をタッチして **ガイドOFF** をタッチする。

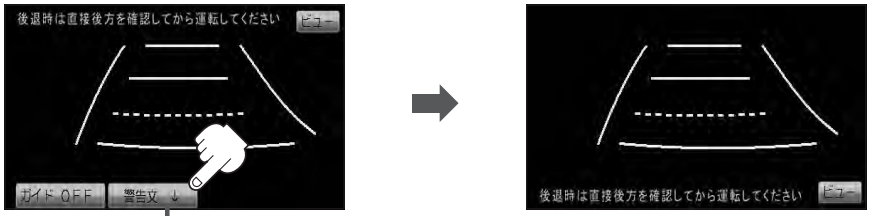
お願い

- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行なわないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整、警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行なってください。

警告文の位置を下げる

1 リアカメラ映像画面表示中に画面をタッチして **警告文↓** をタッチする。

：画面上部の警告文が画面下部に表示されます。

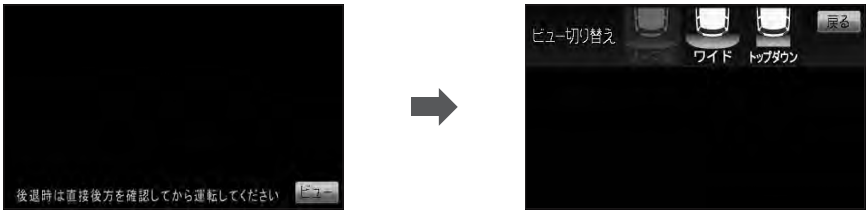


警告文↓ ↔ **警告文↑** と切り替わります。

2 位置を上げるには画面をタッチして **警告文↑** をタッチする。

アドバイス

- 車種によっては、警告文を画面下側にすると車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。その場合は警告文を画面上側にするなどしてください。
- リアワイドカメラ接続時では、警告文の位置を下側にすると **ビュー** も下側に移動しますが、ビュー切り替えボタンは上側に表示されます。



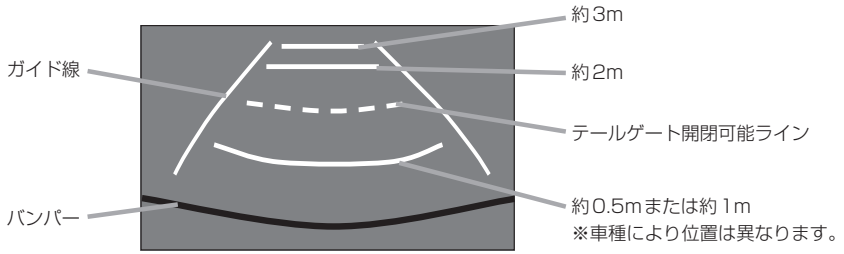
リアカメラ映像を設定する(3)

車両標準装備
別売

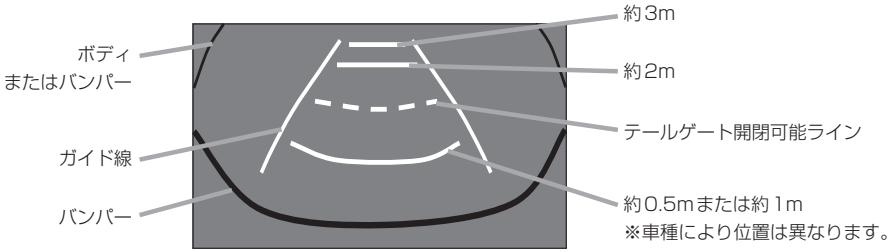
リアカメラガイドの見かた

画面上に車両の後方と車幅や距離感覚を補う目安が表示されます。
接続されているリアカメラの種類及び選択した表示ビューにより見え方が異なります。

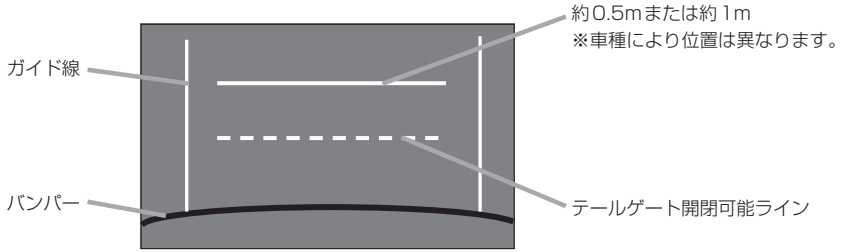
●リアカメラ、リアワイドカメラ(ノーマルビュー)の画面



●リアワイドカメラ(ワイドビュー)の画面

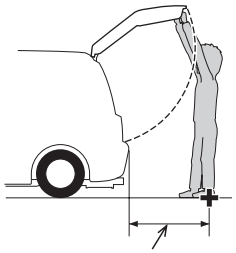


●リアワイドカメラ(トップダウンビュー)の画面



アドバイス

- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、各Honda販売店で設定されます。
- 設定の変更などについては、各Honda販売店にご相談ください。
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
  - 図(F-54)に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
  - 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
    - 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
    - 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。



テールゲートなどの開閉に必要な距離

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ) 車両標準装備 別売

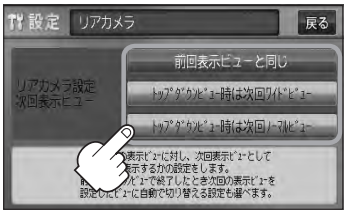
リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているとき、リアカメラの次回表示ビューの設定をすることができます。
リアカメラ設定 はリアワイドカメラ標準装備車または別売のリアワイドカメラ接続時に表示されます。

1 MENU を押す。

2 **設定** ➡ **次へ** をタッチする。

3 **リアカメラ設定** をタッチする。
：リアカメラ設定画面が表示されます。

4 トップダウンビューでリアカメラ表示を終了したときの次回表示ビューを設定する。



■ 次回表示ビューをワイドビューまたはノーマルビューに自動で切り替える場合

① **トップダウンビュー時は次回ワイドビュー** ／
トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー をタッチする。

■ 次回表示ビューをトップダウンビューのままとする場合

① **前回表示ビューと同じ** をタッチする。

5 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

G

オーディオ／共通

ワンセグについて☆……G-2
地上デジタルテレビ放送の
チャンネル変更（リパック）について☆……G-2
ワンセグの番組受信について☆……G-3
マルチサービスについて☆……G-3
ワンセグの画像について☆……G-4
ディスクのMP3／WMA音楽再生について…G-5
DVDビデオについて☆……G-11
ディスクに表示されているマークについて☆……G-11
VRモードで作成したディスクについて☆……G-12
ディスクの構成について☆……G-12
SDカードの音楽再生について……G-13
USB機器の音楽再生について……G-16
iPodについて……G-18
iPodとは……G-18
使用上のご注意……G-18
対応可能なiPod……G-19
各部の名称とはたらき……G-20
パネル部について……G-20
基本操作……G-22
各モードを選択する……G-22
映像の表示について……G-24
SDカードを入れる／取り出す……G-25
オーディオモードをOFFにする……G-26
設定の保持について……G-26
ページのスクロールについて……G-26
AV SOURCE画面のモードボタン
について……G-27
パネル部のボタンで選曲する……G-28
早戻し／早送りをする……G-29
**リピート／ランダム／スキャン／
シャッフル再生……G-30**
音量を調整する……G-33
音質／音量バランスの調整をする……G-34
車速連動音量を設定する……G-36
時計を表示する……G-38
もとの画面に戻す……G-38
交通情報を受信する……G-39
**音声はそのままで、ナビゲーション画面を
表示する……G-40**

☆印…VXM-128VSの場合

ワンセグについて

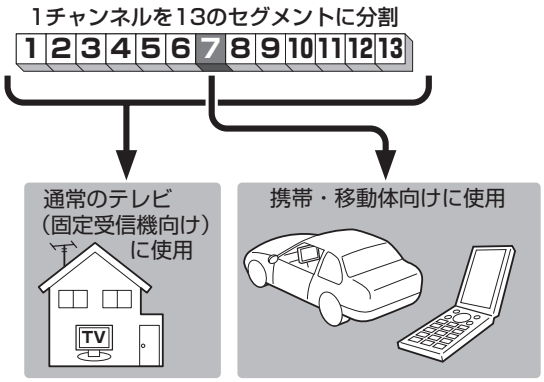
VXM-128VS

地上デジタルテレビ放送は、地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の一部で開始された放送です(その他の地域では2006年末までに放送が開始されました)。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルテレビ放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタルテレビ放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

本機では地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。なお、地上デジタルテレビ放送や地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。

※本機はワンセグ受信中に緊急警報放送を受信した際、自動的に電源をONにする機能は持ちません。

アドバイス 「ワンセグ」サービスの詳細につきましては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/



ワンセグは13個のセグメントのうちの1つを使って、携帯電話などの小型機器に向けた地上デジタルテレビ放送です。

ワンセグの番組内容は、12セグメントを使っている通常のテレビ(固定受信機向け)の番組内容と異なる場合があります。

地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について

- 2011年8月末より一部の地域を対象として、地上デジタルテレビ放送の周波数資源の再分配や受信障害の解消をおこなうために、地上デジタルテレビ放送の一部チャンネルの周波数変更(リパック)が実施されます。これは総務省が推進する事業で約1年間の期間をかけて対象地域で順次実施されるものです。
  ※ただし、東北地方の岩手県、宮城県、については2013年の3月末までに実施されます。
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネルが変更されることで視聴ができなくなった場合、本機で再スキャンする必要があります。(☞I-12)
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)の情報に関しては下記のホームページをご覧ください。
  http://digisuppo.jp/index.php/repack/#repack-main

ワンセグの番組受信について(1)

VXM-128VS

- 地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

マルチサービスについて

「マルチサービス」とは、1つの放送局が同じ周波数で複数の番組(サービス)を放送している運用形態のことです。番組内容は放送局によって異なりますが、地域や時間帯によっては、放送されていないことがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。

ワンセグの番組受信について(2)

VXM-128VS

ワンセグの画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示しています。データによって画像の大きさ(比率)が異なります。チャンネルを変えたり、CMや次の番組に変わったときなど、下記のように画像の周りや上下、左右が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。

(例)周りが黒く表示される

(例)上下が黒く表示される

(例)左右が黒く表示される

ディスクのMP3／WMA音楽再生について(1)

●MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

●WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

●再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio*1
対応サンプリング周波数	G-9参照	G-10参照
対応ビットレート*2		

＊1印…
- DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
- Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。

＊2印…
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

●使用できるメディアについて

- MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
  ※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
  ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

●ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”／WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。
  ※拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。

アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証していません。

ディスクのMP3／WMA音楽再生について(2)

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字、2.xは半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはアーティスト名／トラック名／アルバム名です。
※WMAタグの表示可能文字数は全角、半角ともに32文字です。
※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

●マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

●MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックしますので、通常の音楽CDより時間がかかります。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（飛ばします。）

●MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

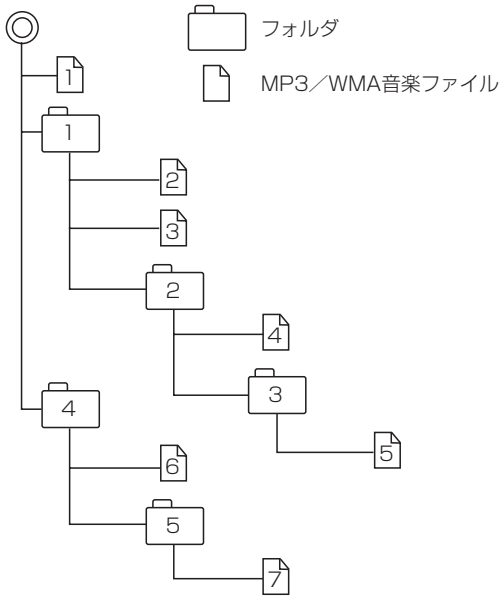
●使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるディスクのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1(＊)およびレベル2(＊)です。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。
上記フォーマット(＊)以外で書き込まれたMP3／WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層　：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数　：全角、半角ともに32文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字　：A～Z、0～9、_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1メディア内の最大ファイル数　：255
- 最大フォルダ数　：100
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並び替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7 の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層をなるべく少なくすることをおすすめします。

●著作権保護がある音楽ファイルについて

本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

※著作権保護とは著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ディスクのMP3／WMA音楽再生について(3)

●MP3／WMAファイルの作り方について

MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

●インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。
音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は本機では再生できません。

●音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで、12cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明を参照してください。)
本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

●CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	−	○
22.050	−	○
24.000	−	○
32.000	○	−
44.100	○	−
48.000	○	−
ビットレート(kbps)		
8	−	○
16	−	○
24	−	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	−	○
160	○	○
192	○	−
224	○	−
256	○	−
320	○	−
VBR	○	○

※VBR…可変ビットレート

ディスクのMP3／WMA音楽再生について(4)

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	−	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	−	○
320	−	○
VBR	−	○

※VBR：可変ビットレート

- **表示可能なID3／WMAタグ**
  Song Title、Artist Name、Album Title
  ※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。
- **フォルダ番号、トラック番号について**
  演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。
- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで保存されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。

DVDビデオについて(1)

VXM-128VS

本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕

DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。

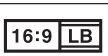
- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の2つの技術を使用しています。

- **マクロビジョン**
  本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの認可が必要です。改造または分解は禁止されています。
- **ドルビーデジタル**
  本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。(例)

マーク(例)	意　味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比(TV画面の横と縦の比率)を表します。 ●「16 : 9」はワイド画面、「4 : 3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

DVDビデオについて(2)

VXM-128VS

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り替えて表示することができます。

VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。(下記表参照)

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。)未ファイナライズ処理のDVD-R／DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

DVD再生ディスク対応一覧表

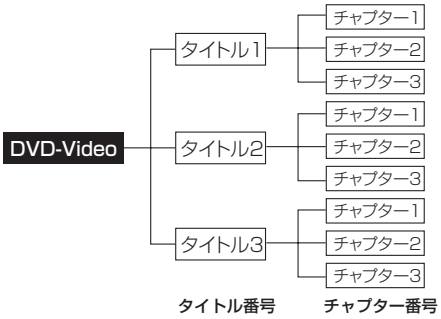
メディアの種類(記録方式) / 録画映像の種類	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード) DVD+R(Videoモード) DVD+RW(Videoモード) DVD-R DL(Videoモード) DVD+R DL(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×*	×*	×*	×*	×*	×	×

—…記録できないディスク

×…再生できないディスク

*印…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

ディスクの構成について



DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。

SDカードの音楽再生について(1)

パソコンからSDカードにMP3／WMA／AAC形式で保存された音楽データを本機で再生することができます。

●SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

●MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

●AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。
※MP3／WMAの説明につきましては☞G-5をご覧ください。

●SDカードについて

- 32GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- 本機はCLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10のSDHCカードに対応しています。
- SDXCカードには対応していません。
- 本機はUHS-Ⅰには対応していません。
- USB接続のカードリーダーに対応していません。
  ※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。
- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。
- SDカードの初期化は本機で行なってください。
  ☞「データを初期化(消去)する」F-49
- SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。
  ※SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- 本機で再生する音楽データを含めたSDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、反りなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
  ・使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

SDカードの音楽再生について(2)

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては☞G-9をご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート16～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

●操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機　能		SDカード（2GB以下）	SDHCカード（4GB以上）	miniSDカード（アダプター必要）	microSDカード（アダプター必要）
音楽データの再生	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○

※本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

●MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報（画像など）が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC（m4a）ファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数3000／1フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：400となります。
- 再生の順序は、同一のSDカードでも、使用する機器（プレーヤー）によって異なる場合があります。
- 選曲モード（☞L-4）のフォルダやトラックリストに表示される順番は☞「階層と再生順序のイメージ」G-7に従います。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。

  ※正しい順番で表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示させる順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMA／AACは再生できません。

●ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはアーティスト名／トラック名／アルバム名です。
（トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。）
※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

USB機器の音楽再生について

USB機器を使用して本機で再生することができます。

●MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

●AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3／WMAの説明につきましては☞ G-5をご覧ください。

●USB機器について

- 32GBまでの容量のUSB機器に対応しています。
- 別売のUSBメモリーデバイスコードに接続してください。
  ※iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードでiPodの再生をすることもできます。☞「iPodを本体に接続する」N-4
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- USB接続のカードリーダーに対応していません。
  ※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。
- マスストレージクラスのUSB機器に対応しています。
- パーティションが複数ある機器には対応していません。
- 電流が500mAを超える機器には対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求される機器には対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器には対応していません。
- ウォークマン®(USB音楽プレーヤー)には対応していません。
- USB機器に記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USB機器の音楽再生中にUSB機器を外さないでください。
  USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- すべてのUSB機器の動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSB機器の保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- USB機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器が接続されているときに、USB機器の上に乗ったり、物を置かないでください。故障の原因となります。

●MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応していません。

- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報（画像など）が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC（m4a）ファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数：3000／1フォルダ内の最大ファイル数：255／最大フォルダ数：400となります。
- 選曲モードのリストに表示される順番は☞「階層と再生順序のイメージ」G-7に従います。
  同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しい順番で表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示させる順番は変わりません。
- 著作権保護されたWMA／AACファイルは再生できません。

●ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。

※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。

●ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。
※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては☞G-9をご覧ください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

iPodについて

iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、本機でiPodの曲を再生することができます。

Made for iPod iPhone

"Made for iPod" and "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are a trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。
＊印…インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPod touch／iPhoneの本体でアプリケーションを使用していると、本機に接続した際、正しく動作しない場合があります。iPod touch／iPhone本体のアプリケーションを終了させてから本機に接続し、使用してください。
  ※音飛びや誤操作の原因になる場合があります。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチのⅡ(ON)／0(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- iPod本体やiPod用接続ケーブルをエアバッグ等の作動を妨げるような場所や運転に支障をきたす場所に設置しないでください。
- 運転中は運転者自身によるiPodの接続や取り外しはやめてください。
- iPodはiPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードで再生させます。☞N-4
- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPodが接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

対応可能なiPod

2011年6月現在

対応モデル	対応可否	ソフトウェア
iPod 第3世代	×	—
iPod 第4世代(クリックホイール)	×	—
iPod photo 含　iPod with color display	×	—
iPod 第5世代(with video)	○	1.3
iPod classic(80G/160G)	○	1.1.2
iPod classic(120G)	○	2.0.1
iPod classic(160G)	○	2.0.4
iPod mini(第1世代)	×	—
iPod mini(第2世代)	×	—
iPod nano(第1世代)	○	1.3.1
iPod nano(第2世代)	○	1.1.3
iPod nano(第3世代)	○	1.1.3
iPod nano(第4世代)	○	1.0.4
iPod nano(第5世代)	○	1.0.2
iPod nano(第6世代)	○	1.1
iPod touch(第1世代)	×	—
iPod touch 第1世代 (ソフトウェアver3)	○	3.1.3
iPod touch(第2世代)	○	4.2.1
iPod touch(第3世代)	○	4.3.2
iPod touch(第4世代)	○	4.3.2
iPhone 3G(softbank)	○	4.2.1
iPhone 3GS(softbank)	○	4.3.2
iPhone 4(softbank)	○	4.3.2

○：オーディオ再生可(ビデオ再生不可)　　×：再生不可

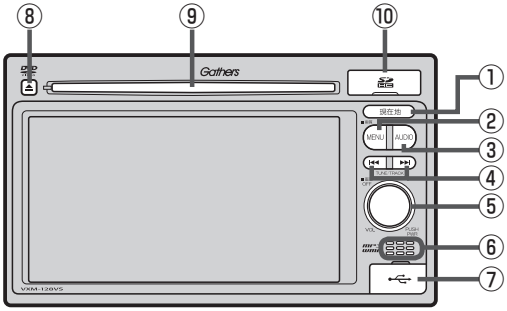
最新の適応情報は下記URLをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/

アドバイス

- 表に記載したソフトウェアバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- iPad、iPad2には対応していません。
- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できないことがあります。
- 第4世代以前のiPodおよびiPod mini／iPod photoには対応していません。
- iPod／iPhoneをバージョンアップした際は必ずiPod／iPhoneを一度リセットしてください。
  リセットを行なわないと正しく動作できない場合があります。
- iPodの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

各部の名称とはたらき

パネル部について



① 現在地 ボタン
現在地の地図を表示します。
B-7、G-40

② MENU ボタン
- FM／AM／CD／MP3／WMA／USB／iPod／SD／ワンセグ☆／VTRモード時にボタンを押すと、ナビゲーションモードのトップMENU画面を表示します。
- DVD☆モード時にボタンを押すと、操作ボタン1を表示します。
K-2
- 長押しすると画質調整画面を表示します。
P-2

③ AUDIO ボタン
AV SOURCE画面を表示します。
※ナビゲーション画面／オーディオ画面から他のオーディオ画面を表示させる(モードの切り替えをする)ときに使用します。
G-23

④ ⏮ ／ ⏭ ボタン
- 好きな曲／ファイル／チャプター／放送局を選びます。
  - CD／MP3／WMA／SD／USB／iPod
G-28
  - FM／AM
H-6
  - ワンセグ☆
I-14
  - DVD☆
K-7
- 長押しすると早戻し／早送り／自動選局を行ないます。
  - CD／MP3／WMA／DVD☆／SD／USB／iPod
G-29
  - FM／AM
H-6
  - ワンセグ☆
I-14
- 一時停止中にコマ戻し／コマ送りを行ないます。
  - DVD☆
K-8
- 一時停止中に長押しすると、スロー戻し／スロー送りを行ないます。
  - DVD☆
K-9

⑤ ◯ ボタン(VOL／PUSH PWR)
- ボタンを押すたびに、オーディオモードをON／OFFします。
G-26
- 右方向または左方向に回転し、オーディオの音量を調整します。
G-33
- 2秒以上長押しで画面を消します。
P-6

☆印…VXM-128VSの場合

⑥内蔵マイク☆

ハンズフリー機能を使用して、電話を発信または着信後に内蔵マイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

☞ O-2

⑦USB接続口

カバーを開けると接続口があらわれます。USB／iPodモードを使用する場合、別売のUSBメモリーデバイスコード、またはiPodに付属のUSBケーブルを接続します。

☞ N-4

⑧ ▲ ボタン(DVD☆／CDイジェクト)

ディスクを取り出すときに使用します。

☞ B-3、G-24

⑨ディスク挿入口

☞ B-3

⑩SDカード挿入口

SDモードを使用する場合、カバーを開けてSDカードを差し込みます。

☞ B-4

アドバイス

画面に表示されるタッチパネル部のボタンにつきましてはそれぞれを参照してください。

- FM／AM ☞ H-2
- ワンセグ☆ ☞ I-3
- CD／MP3／WMA ☞ J-2
- DVD☆ ☞ K-2
- SD ☞ L-2
- VTR ☞ M-2
- USB ☞ N-2

☆印…VXM-128VSの場合

基本操作(1)

- パネル部の詳細につきましては☞「各部の名称とはたらき」G-20をご覧ください。
- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とは、FM／AM／CD／MP3／WMA／DVD☆／USB*1／SD／ワンセグ☆／VTR*2モード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています。)

*1印…iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、USBモードでiPodの音楽データを再生させることができます。
*2印…本機に別売のVTRコードまたは別売のAUX接続コードを接続している場合に選択できます。
☆印…VXM-128VSの場合

各モードを選択する

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、G-23手順 2 へ進んでください。

1 車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

起動初期画面

(例)CDモード TOP画面

⚠注意 車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)の状態(エンジンを停止したまま)で長時間使用しないでください。車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 AUDIOを押す。

：AV SOURCE画面または最後のオーディオモード画面が表示されます。最後のオーディオモード画面から他のモードに変えたい場合はもう一度AUDIOを押してAV SOURCE画面を表示させてください。

ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は、挿入または接続してください。

☞B-3、B-4、M-3、N-4

3 操作したいモード(FM／AM／CD／DVD☆／USB／SD／ワンセグ☆／VTR)をタッチする。

：選択したそれぞれのモード画面が表示されます。

AV SOURCE画面(下記)に表示されるモードボタン(各機能)は型式によって異なります。また、各ボタンの詳細につきましては☞G-27を参照してください。

AV SOURCE画面

VXM-128VS

VXM-128C

■ 操作したいモード画面が表示された場合

①☞それぞれの項目をご覧いただき、ご希望の操作を行なってください。

- FM／AM ☞H-1
- ワンセグ☆ ☞I-1
- CD／MP3／WMA ☞J-1
- DVD☆ ☞K-1
- SD ☞L-1
- VTR ☞M-1
- USB ☞N-1

※音楽再生をしていた場合は前回の続きから再生を始めます。

☆印…VXM-128VSの場合

基本操作(2)

映像の表示について

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※映像を表示するモードはDVD☆／ワンセグ☆／VTRとなります。

(例)DVD☆モード画面(走行中)

⚠注意 ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。

1 ディスクを入れる／取り出す。

■ ディスクを入れる場合

① ディスク挿入口にディスクを挿入する。

：自動で再生を始めます。

■ ディスクを取り出す場合

① [▲](DVD☆／CDイジェクト)を押す。

：ディスクがディスク挿入口より出てきます。

アドバイス

- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
- DVDディスクを取り出して再度再生を始めるとリジューム再生(続きから再生)を行ないます。☆
- 再生中に車のエンジンスイッチを変更した場合は、次にⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にすると、前に再生していた続きから再生を始めます。
- [▲](DVD☆／CDイジェクト)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生が開始されます。

☆印…VXM-128VSの場合

SDカードを入れる／取り出す

1 SDカードカバーを開ける。

☞B-4

：SDカード挿入口があらわれます。

2 SDカードを入れる／取り出す。

■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

※SDモードを選択している場合は再生を始めます。

② SDカードカバーを“カチッ”と音がするまで押す。

■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

② SDカードカバーを“カチッ”と音がするまで押す。

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
  ※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)して取り出してください。

基本操作(3)

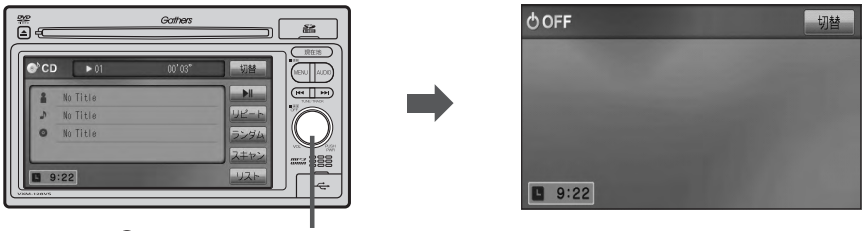
オーディオモードをOFFにする

1 **◯(VOL／PUSH PWR)を押す。**

：画面に“OFF”と表示され、オーディオの各モードを終了します。
もう一度押すと、オーディオモードをONします。

※前回、音楽またはDVD☆を再生していた場合は続きから再生を始めます。

(例)CDモード TOP画面



◯ボタン(VOL／PUSH PWR)

☆印…VXM-128VSの場合

設定の保持について

決定のある画面では、 決定 をタッチすると設定が保持されます。
決定 をタッチしないで 戻る をタッチまたは MENU ／ 現在地 を押すと設定は保持されません。
※ 決定 のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。

ページのスクロールについて

次ページがある場合、 ／ タッチでページのスクロール(戻し／送り)表示することができます。
※走行中はスクロールできません。

AV SOURCE画面のモードボタンについて

AV SOURCE画面

VXM-128VS

VXM-128C

選択可能モードはモードをあらわす文字が黒色表示

選択不可能モードはモードをあらわす文字が灰色表示

● CD／DVD☆表示について

CD／DVD☆モードボタンまたはCD★モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

使用状態 / 型式	CD／DVD☆未挿入時*1	ディスク再生中にディスクを抜いたとき*2	CD／MP3／WMAディスクを挿入し再生時	DVD☆ディスクを挿入し再生時
VXM-128VS	CD/DVD	CD/DVD	CD	DVD
VXM-128C	CD	CD	CD	—

アドバイス

＊1印…＊2のとき、一度他のモードにすると選択不可（＊1の状態）となります。

- CD/DVD☆は挿入したディスクによってCD、DVD☆と表示が変わります。
- SDモード／USBモードを使用するにはSDカードを本機に挿入／別売のUSBメモリーデバイスコードを本機に接続し、USB機器を接続しておく必要があります。☞B-4、N-4
  ※SDカード未挿入／USB機器未接続の場合、それぞれのモードでメッセージが表示されます。
- iPodを再生するにはiPod本体に付属されているUSBケーブルに本機とiPodを接続しておく必要があります。☞N-4

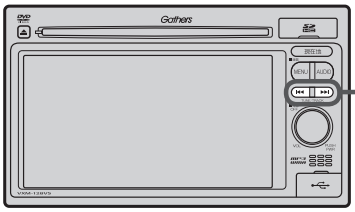
☆印…VXM-128VSの場合
★印…VXM-128Cの場合

パネル部のボタンで選曲する

操作パネル上のボタンを押して１曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

1 **⏮／⏭（トラック*1）を押す。**

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



■ 前のトラックに戻る場合

① **⏮を２回押す。**

※１回押した場合は再生中の曲（トラック）の頭に戻ります。*2

■ 次のトラックに進む場合

① **⏭を押す。**

アドバイス

- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
  - CD／MP3／WMA ☞ J-4
  - SD ☞ L-4
  - USB ☞ N-6
  - iPod ☞ N-10

＊1印…FM／AM／ワンセグ☆モードでは選局、DVD☆モードではスキップと呼び名を変えています。
- FM／AM ☞ H-6
- ワンセグ☆ ☞ I-14
- DVD☆ ☞ K-7～K-9

＊2印…CD／MP3／WMAモードのとき、トラック再生開始３秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

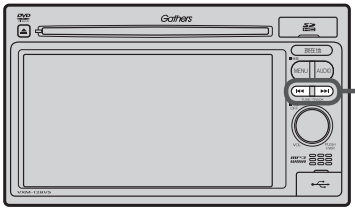
☆印…VXM-128VSの場合

早戻し／早送りをする

1 ⏮／⏭(トラック／スキップ)を押し続ける。

：早戻し／早送りをします。

※DVD☆モードの場合、通常の6倍の速さでの早戻し／早送りをします。



■ 早戻しで戻る場合

① ⏮を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

① ⏭を押し続ける。

再生状態表示
▶ ：通常再生
▶▶ ：早送り
◀◀ ：早戻し

(例)音楽再生の場合

アドバイス
- それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。
- FM／AM／ワンセグ☆モードのときに押し続けると自動選局を開始します。
  - FM／AM H-6
  - ワンセグ☆ I-14

☆印…VXM-128VSの場合

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生(1)

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

1 再生したいモード(リピート ／ ランダム ／ スキャン ／ シャッフル)を選択する。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート をタッチする。**

：ボタンが点灯し、リピート再生されます。

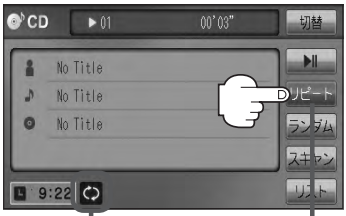
※ リピート をタッチするごとに
下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)
(ボタン消灯／マーク表示無)

(例)リピート再生画面



リピート再生中はマークが
表示されます。

選択時点灯

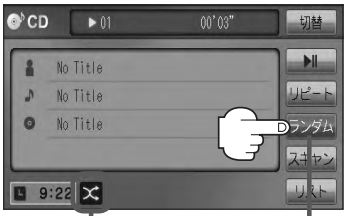
■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム をタッチする。**

：ボタンが点灯し、ランダム再生されます。

※ ランダム をタッチするごとに下記のように
用途が変わります。

(例)ランダム再生画面



ランダム再生中はマークが
表示されます。

選択時点灯

CDの場合

ディスク内の曲をランダム再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有)

↓

通常再生(ランダム解除)
(ボタン消灯／マーク表示無)

MP3／WMAの場合

選曲中フォルダ内の曲をランダム再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有)

↓

通常再生(ランダム解除)
(ボタン消灯／マーク表示無)

SD／USBの場合

今聞いているリストの中からランダム再生
（ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有）

↓

通常再生（ランダム解除）
（ボタン消灯／マーク表示無）

アドバイス ランダム再生は、同じ曲が連続で再生されることがあります。

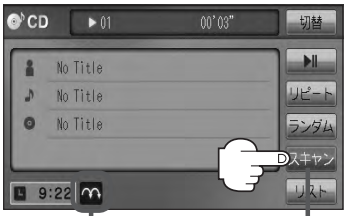
■ スキャン（イントロ）再生する場合

① **スキャン** をタッチする。

：ボタンが点灯し、曲の頭（イントロ）を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

（例）スキャン再生画面



スキャン再生中はマークが表示されます。

選択時点灯

CD／MP3／WMAの場合

ディスク内の曲をスキャン再生
（ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有）

↓

通常再生（スキャン解除）
（ボタン消灯／マーク表示無）

SD／USBの場合

今聞いているリストの中からスキャン再生
（ボタン点灯／TOP画面のとき
マーク表示有）

↓

通常再生（スキャン解除）
（ボタン消灯／マーク表示無）

アドバイス スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生(2)

■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※USBモード(iPod再生のみ)

① **シャッフル** をタッチする。

(例)シャッフル再生画面

選択中の再生状態を表示

選択時ボタン点灯

：ボタンが点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチするごとに
下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からシャッフル再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき
Track マーク表示有)

↓

今聞いているリストをアルバムごとにシャッフル再生
(ボタン点灯／TOP画面のとき
Album マーク表示有)

↓

通常再生(シャッフル解除)
(ボタン消灯／マーク表示無)

アドバイス シャッフル再生は、同じ曲が連続で再生されることがあります。

アドバイス
- マーク表示中はそれぞれの再生モードを繰り返します。
- SDモードまたはUSBモードの選曲モード(☞L-5、N-7)で“フォルダリスト”を選択している場合は、選択しているフォルダリストのランダム再生またはスキャン再生となります。

音量を調整する

1 **◯(VOL／PUSH PWR)を右方向／左方向へ回す。**

右方向：音量が大きくなります。

左方向：音量が小さくなります。

(例)CDモード TOP画面

◯ボタン(VOL／PUSH PWR)

音量を調整すると画面に現在の音の大きさ(0～40)を示すVOLUME(ボリューム)表示されます。
VOLUME(ボリューム)表示は約3秒間表示されます。

アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量は画面をタッチして調整します。
  「音声案内の音量を調整する」F-33
- DVD☆モードまたはVTRモードの場合、音量は個別に保持します。
  ※CDモードで音量を“10”に設定した場合、FM／AM／ワンセグ☆／MP3／WMA／SD／USBモードの音量も“10”となります。

☆印…VXM-128VSの場合

音質／音量バランスの調整をする

低音、高音の調整や前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

- BASS（バス）：低音域の調整　●TREBLE（トレブル）：高音域の調整
- BALANCE（バランス）：左または右スピーカーの音量調整
- FADE（フェード）：前または後ろスピーカー音量調整

※オーディオモードOFFの場合、音質／音量バランスの調整をすることはできません。

---

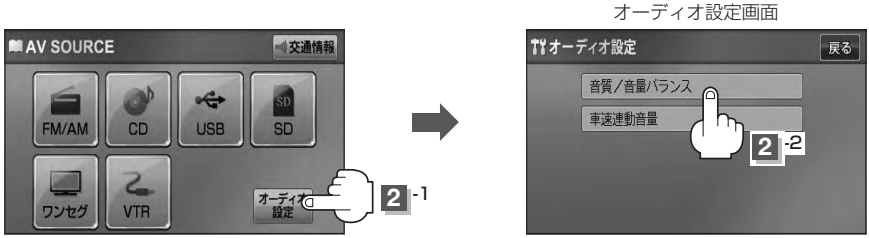
1 各モード画面で AUDIO を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

---

2 オーディオ設定 ➡ 音質／音量バランス をタッチする。

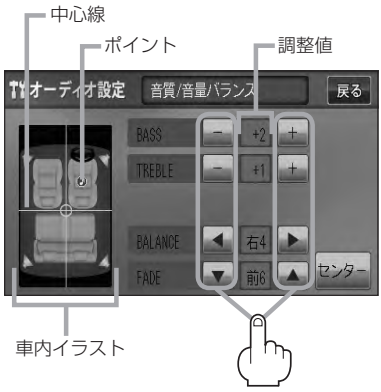
：音質／音量バランス画面が表示されます。



---

3 調整したい項目（BASS／TREBLE／BALANCE／FADE）の − ／ ＋ または ◀ ／ ▶ または ▼ ／ ▲ をタッチする。

※BALANCEとFADEの場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント（値）を移動させて調整することもできます。



■ BASS（−5〜+5）調整の場合

− をタッチすると低音が弱まり、＋ をタッチすると低音が強まる。

■ TREBLE（−5〜+5）調整の場合

− をタッチすると高音が弱まり、＋ をタッチすると高音が強まる。

■ BALANCE(左9～右9)調整の場合

◀ をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
▶ をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

■ FADE(前9～後9)調整の場合

▼ をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
▲ をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

● **センター** をタッチすると“BALANCE(バランス)”または“FADE(フェード)”の値が“0”になり、ポイントを中心線上に戻すことができます。

● 調整時に − ／ ＋ ／ ◀ ／ ▶ ／ ▼ ／ ▲ をタッチし続けると、連続的に変化します。
● 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

車速連動音量を設定する

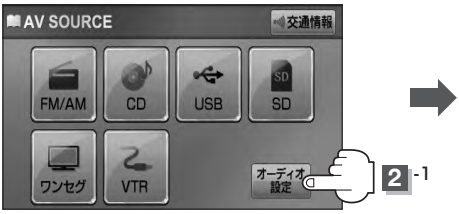
車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

1 各モード画面で AUDIO を押す。

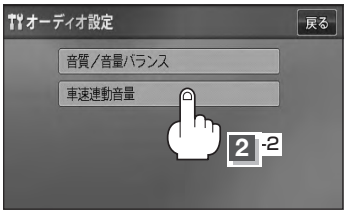
：AV SOURCE画面が表示されます。

2 オーディオ設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

：車速連動音量画面が表示されます。



オーディオ設定画面



3 設定したい音量ボタン(LOW ／ MIDDLE ／ HIGH)をタッチする。

：車速(走行速度)に応じて音量変化は
- LOW…小さい
- MIDDLE…HIGHとLOWの中間
- HIGH…大きい

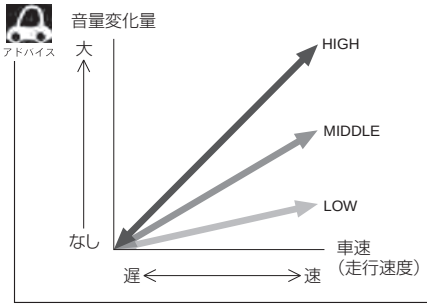
となります。

連動音量

■ 車速連動音量を設定しない場合

① OFF をタッチする。

4 設定を終えるには、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ(小さくし)ます。
  ※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。
- すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

〔車速連動音量を設定する〕

時計を表示する

FM／AM／CD／MP3／WMA／SD／USB／iPodを再生中、画面全体に時計を表示することができます。

1 各モードのTOP画面で **切替** をタッチする。

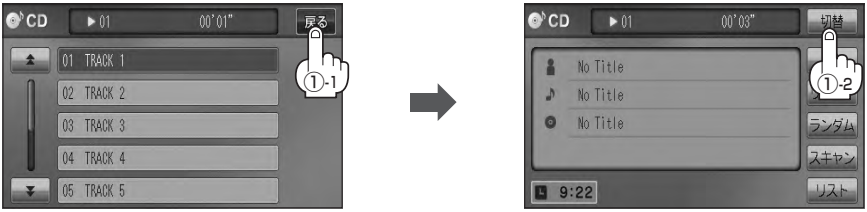
：画面全体に時計を表示します。

(例)CDモード TOP画面

■ リスト画面が表示されている場合

① **戻る** ➡ **切替** をタッチする。

(例)CDモード リスト画面



もとの画面に戻す

1 **切替** をタッチする。

：もとの画面に戻ります。

(例)時計表示画面

アドバイス ワンセグ☆モード／DVD☆モード／VTRモード時は、時計を表示させることはできません。

☆印…VXM-128VSの場合

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1 各モード画面で AUDIO を押す。

：AV SOURCE画面が表示されます。

アドバイス ラジオモード(FM／AM)から操作する場合は、H-12をご覧ください。

2 交通情報 をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。
※初期状態は1620kHzに設定されています。

AV SOURCE画面

(例)交通情報画面

■ 周波数の設定を変える場合

① 受信したい周波数(1620kHz ／ 1629kHz)をタッチする。

：設定した周波数で道路交通情報を受信します。

3 交通情報の受信を止めるには、戻る をタッチする。

：選択していたモード画面に戻ります。

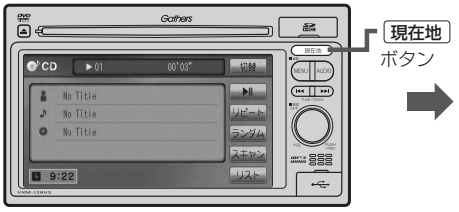
アドバイス 次回、 交通情報 をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各モード画面で、 現在地 を押す。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

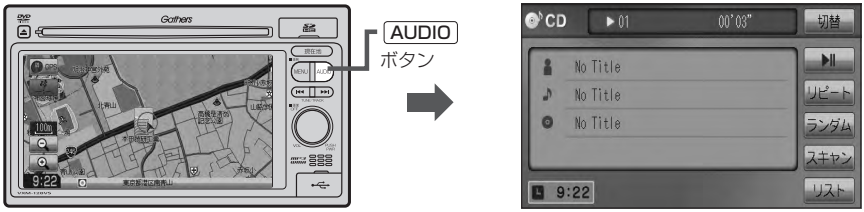


■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

① AUDIO を押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、 現在地 を押してください。

(例)CDモード TOP画面



アドバイス オーディオモードの音量調整(☞ G-33)や ⏮ / ⏭ (☞ G-28、G-29)を使っての操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。